

ELECOM

User's Manual

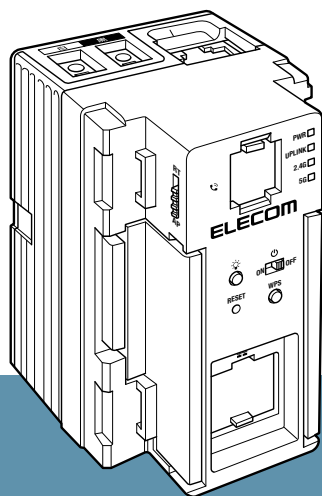
ユーザーズマニュアル

第3版 2024/1/15

対象FWバージョン：2.0.7以降

法人向けマルチメディアコンセント対応
無線LANアクセスポイント

WAB-S1167IW2-AC /
WAB-S1167IW-PD



この度は、エレコムの無線アクセスポイントをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。
また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

- 本書は表紙に記載のファームウェアバージョンを基に記載しています。
下位のファームウェアバージョンでは画面表示や機能が異なる場合があります。
- 本製品の基本的な導入手順については、付属の「クイックセットアップガイド」などをお読みください。

もくじ

導入編	5
用語	6
このマニュアルで使われている用語	6
このマニュアルで使われている記号	6
このマニュアルをお読みになる前に	7
「クイックセットアップガイド」の主な内容	7
各部の名称とはたらき	8
ラベル貼り付け位置と寸法	11
設置編	12
設置条件について	13
設置場所について	14
設置方法	15
主な設定	20
管理画面を表示する	21
IPアドレスを設定する	24
管理者情報の設定を変更する	26
設定リファレンス編	27
各メニューについて	29
システム構成	29
無線設定	31
ツールボックス	32
システム構成	34
システム情報	34
LAN側IPアドレス	35
LANポート	37
VLAN	39

WAN 設定	41
基本設定	41
DDNS	51
DMZ	53
ポートフォワーディング	54
LAN 設定	56
基本設定	56
LAN ポート	57
固定 DHCP 設定	58
MAC フィルター (有線)	60
QoS	62
リダイレクト機能	63
ログ	64
Syslog サーバー	65
無線設定	66
WPS	66
2.4GHz / 5GHz	68
基本設定	68
詳細設定	71
セキュリティ	74
クライアント	79
MAC フィルター (無線)	80
RADIUS	82
RADIUS 設定	82
ワイヤレスモニター	84
ツールボックス	85
管理者	85
アクセス設定	88
日時	91
アドミリンク	93
基本設定	93
詳細設定	95
設定を保存 / 復元	97

初期化	99
ファームウェア更新	100
ファームウェア更新	100
ファームウェア確認	101
節電	107
再起動スケジュール	109
LED 設定	110
再起動	111

こんなときは 112

動作モードを切り替える	113
ログインID / パスワードを変更する	114
インターネットにつながらない	115
無線 LAN がつながらない	116
端末から WPS で本製品に接続できない	117
WPS を使っても接続できない	117
PIN コードで接続できない	117
ファームウェアを更新する	118
登録した無線子機のみアクセスを許可する	120
初期化する	122

付録編 123

安全上のご注意	124
使用上のご注意	127
このマニュアルについて	128
無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意	129
製品の保証について	130
製品の保証とサービス	130
サポートサービスについて	131

導入編

用語	6
このマニュアルで使われている用語	6
このマニュアルで使われている記号	6
このマニュアルをお読みになる前に	7
「クイックセットアップガイド」の主な内容	7
各部の名称とはたらき	8
ラベル貼り付け位置と寸法	11

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線 LAN アクセスポイント「WAB-S1167IW シリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
11ac / 11n / 11g / 11b / 11a	IEEE802.11ac 規格を「11ac」、IEEE802.11n (2.4G/5G) 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」、IEEE802.11a 規格を「11a」と省略して表記している場合があります。
11b/g/n	11n (2.4GHz 帯) / 11g / 11b の略です。
11a/n/ac	11a / 11n (5GHz 帯) / 11ac の略です。
無線 AP	無線 LAN アクセスポイントを略して「無線 AP」と表記しています。
無線親機	無線 LAN ルーター、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線 LAN 子機	無線 LAN 機能を内蔵したパソコン、無線アダプターを取り付けたパソコン、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線 LAN 子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線 LAN 子機」として表記している場合があります。

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「クイックセットアップガイド」が付属しています。
クイックセットアップガイドには、以下の内容が記載されています。

該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「クイックセットアップガイド」の主な内容

- 各部の名称とはたらき
- 主な仕様と工場出荷時の設定値
- 設置方法
- 主な設定方法

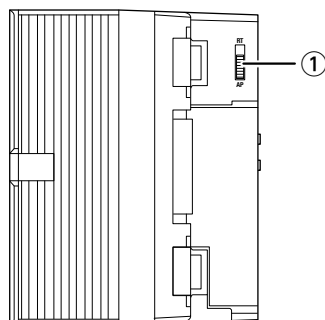
MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

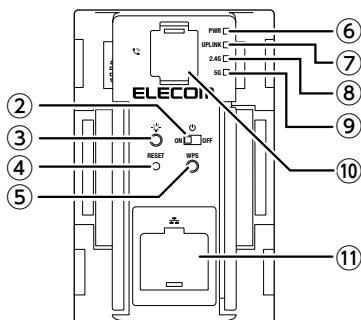
エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

各部の名称とはたらき

本体側面

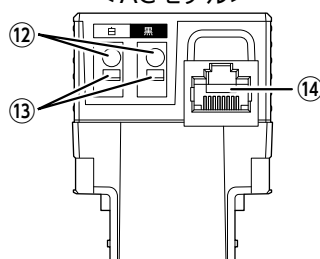


本体正面

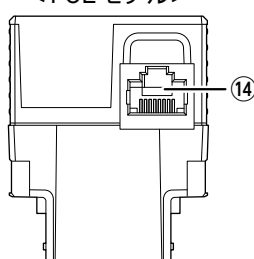


本体上部

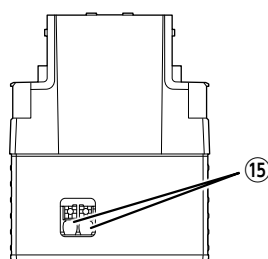
< ACモデル >



< PoEモデル >



本体下部



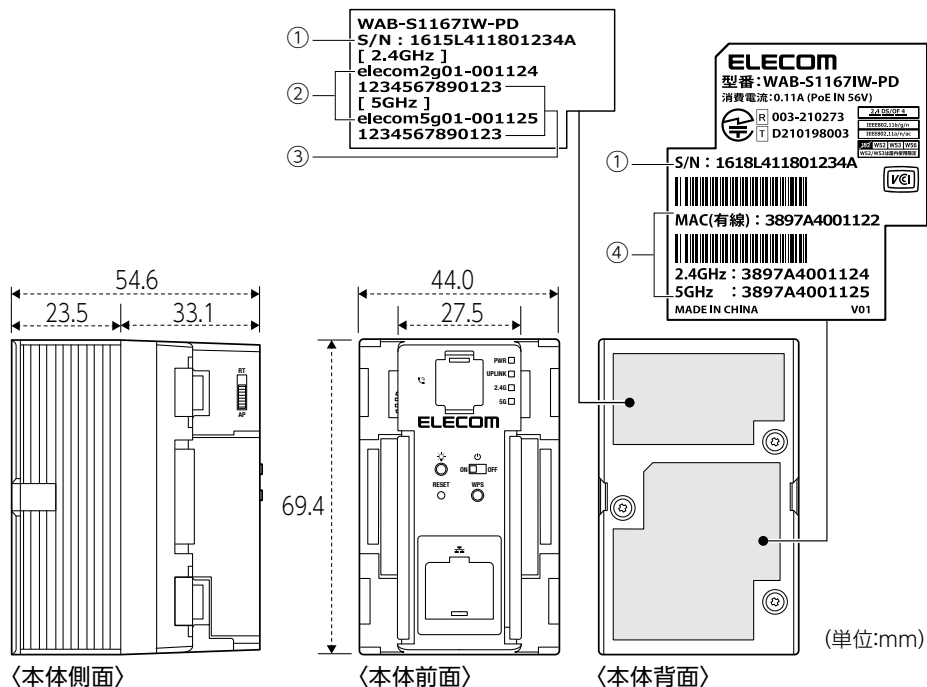
①モード切替スイッチ	本製品の動作モードを選択するスイッチです。AP(アクセスポイント)モード/RT(ルーター)モードから選択できます。初期値は「APモード」です。動作モードを切り替えるときは、必ず本製品の電源を切った状態でスイッチをスライドし、電源を入れなおしてください。
②電源スイッチ	スライドさせることで、本体の電源を入 / 切できます。
③ LED 消灯ボタン	本体のLEDが点灯状態のときにボタンを押すと、PWRランプを含むすべてのLEDが消灯します。 また消灯状態でボタンを押すと点灯状態に戻ります。
④ RESET ボタン	約10秒間押し続け、手を離すと本製品の設定値が初期化され工場出荷時の状態に戻ります。初期化が完了するまで(約2分間)絶対に電源を切らないでください。

⑤ WPS ボタン	WPS を使用して無線 LAN 接続をします。(1 秒長押し)	
⑥ PWR (青色) *	点灯	本体の電源が入っており稼働状態です。(電源 ON から起動完了まで約 1 分)
	点滅	起動中またはファームウェアアップを実行中です。点滅中は絶対に電源を切らないでください。
	消灯	本体の電源が切れた状態です。
⑦ UP LINK (青色) *	点灯	上位機器と接続状態です。
	点滅	データ通信中です。
	消灯	上位機器と未接続状態です。
⑧ 2.4G (青色) *	2.4GHz (11n/g/b) の接続状況を表示します。	
	点灯	無線が有効の状態です。 (無線クライアントが接続していません)
	点滅	接続している無線クライアントがある状態です。
⑨ 5G (青色) *	5GHz (11ac/n/a) の接続状況を表示します。	
	点灯	無線が有効の状態です。 (無線クライアントが接続していません)
	点滅	接続している無線クライアントがある状態です。
⑩ 正面 TEL ポート (シャッター式、RJ11)	消灯	無線が無効の状態です。
	点灯	無線が有効の状態です。 (無線クライアントが接続していません)
	点滅	接続している無線クライアントがある状態です。
⑪ 正面 LAN ポート (シャッター式、RJ45)	RJ11 コネクタの電話用モジュラーケーブルを接続可能です。	
⑫ 電源接続部	LAN 側のパソコンやネットワーク機器を有線 LAN で接続します。	
⑬ ケーブルはずし穴	100V 電源線 (VVF Φ 1.6、 Φ 2.0) を直結接続する端子です。 ※ 電気配線に関わる設置・施工・工事に関する作業は電気工事士の有資格者が必要になります。	
⑭ 背面 LAN ポート (回線側、PoE 受電)	ケーブルをはずす場合はマイナスドライバーなど先の細いもので、中の突起を押し下げてケーブルを引き抜いてください。	
⑮ インターネットポート	インターネット側などの上位回線を有線 LAN で接続します。	

⑮ TEL 接続端子 (回線側、端子タイプ)	電話線を接続する 2 芯端子です。屋内電話配線を接続すると、本体正面の電話ポートが利用可能になります。 ケーブルをはずす場合はマイナスドライバーなど先の細いもので、白い部分を押し下げてケーブルを引き抜いてください。 ※ 電話線に関わる設置・施工・工事に関する作業は工事担任者の有資格者が必要になります。
-----------------------------------	--

※ LED 消灯ボタンを押すと消灯します。

ラベル貼り付け位置と寸法



①	シリアルナンバー
②	SSID
③	セキュリティキー
④	MACアドレス

設置編

設置条件について	13
設置場所について	14
設置方法	15

設置条件について

施工上のご注意



注意

本製品 (AC 電源モデル) の配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規定」に基づき「電気工事士」の有資格者が必ず施工してください。

また、電話線の配線は「工事担任者」の有資格者が必ず施工してください。

無資格者の設置・施工作业によって発生した損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

重要

本製品は、コンセントボックス内に設置することを想定した設計です。

コンセントボックスおよび関連配線についての施工が完了していない状態の場合は、別途工事等を行ってください。

本製品は以下の場所に設置してください。

- 壁に本製品を収容可能なコンセントボックスの準備ができています。
- 本製品用の屋内用電源配線が敷設されている。
- 上位HUBと接続可能なLANケーブルが配線されている。
- 電話回線に接続可能なモジュラーケーブルが配線されている。(電話ポート使用時)

※ 本製品をアクセスポイントモードでご利用になる場合はインターネット接続が可能なルーターなどを上位側にご利用ください。

インターネット接続用のルーターなどをLAN接続していない状態で本製品の設置を実施ください。本製品設置後にルーターなどをLAN接続し、インターネット接続可能であることを確認してください。

※設置を行う前に、電源(ブレーカー)をOFFにしておいてください。

設置場所について

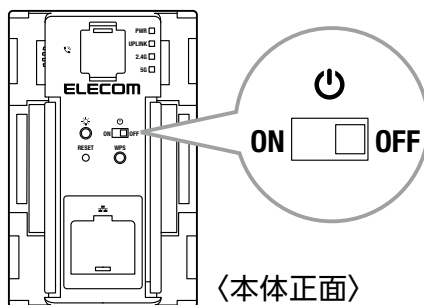
電源断が多発する場所での設置・運用は避け、本製品へ常時電源供給が可能な環境での運用を推奨します。

また、次のような場所には設置しないでください。火災や故障、感電による怪我などの原因になります。

- 熱器具や高熱を発するものの近く、直射日光が当たる外壁の内側など、高温になる場合がある場所
- 水などの液体がかかる恐れのある場所
- 腐食性ガスが発生する可能性のある場所

設置方法

- 1 最初に本製品正面にある電源スイッチを OFF にします。



設置は、必ず本製品の電源スイッチを OFF にした状態で実施してください。

ON 状態で設置を行うと電源ケーブルまたは LAN ケーブル接続時に火花が発生し、火傷などのけがや、火災の原因となる場合があります。

2 ケーブルを接続します。

ACモデルの場合

電源ケーブル、LANケーブル、TELケーブルを接続します。



注意

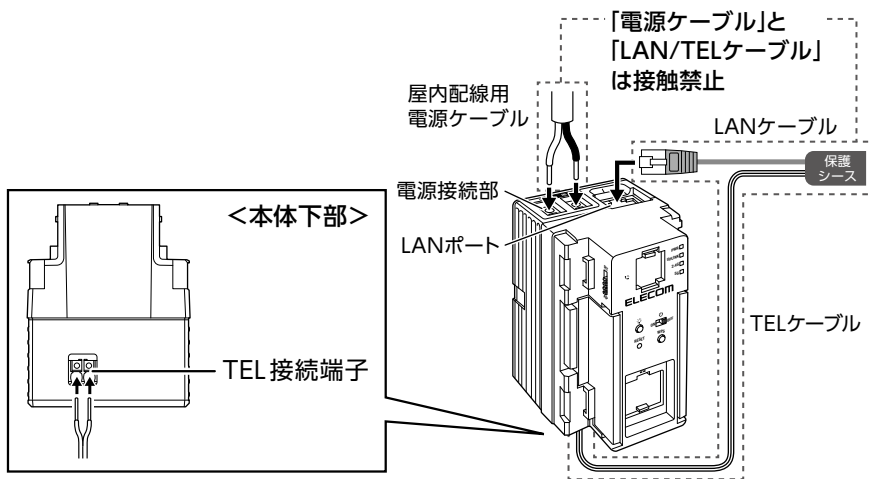
施工上のご注意

本製品（AC電源モデル）の配線工事は「電気設備の技術基準」および「内線規定」に基づき[電気工事士]の有資格者が必ず施工してください。

また、電話線の配線は[工事担任者]の有資格者が必ず施工してください。

無資格者の設置・施工作业によって発生した損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

- ① 屋内配線用電源ケーブルの先端10mmを出し、電源接続部に挿し込みます。
- ② LANケーブルをLANポートに接続します。
- ③ TELケーブルの先端8～9mmを出し、TEL接続端子に挿し込みます。



注意

内線規定にて低圧配線と弱電流電線との離隔が規定されており、本製品ユニットへのLAN/TELケーブルと電源ケーブルの接続時は、双方のケーブルが接触しないよう間隔を空けて配線処理を行ってください。

※ 万が一、情報コンセントボックス内設置時におけるケーブル余長等の都合により電源ケーブルとLAN/TELケーブルが施工上、接触する恐れがある場合は、市販の保護シース等を用いてLAN/TELケーブルを巻くように保護して離隔してください。

PoEモデルの場合

LANケーブル、モジュラーケーブルを接続します。



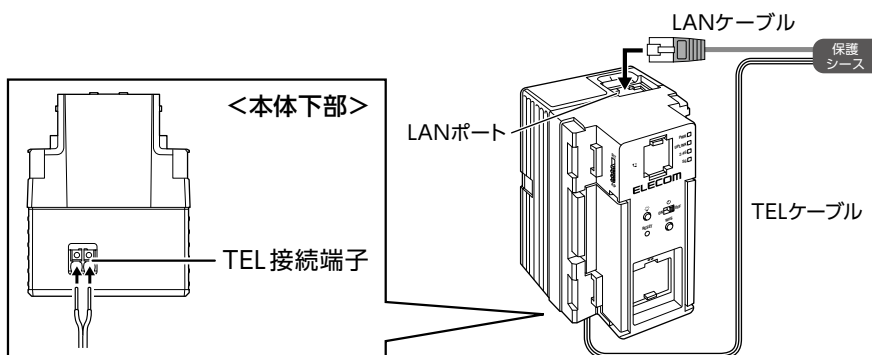
注意

施工上のご注意

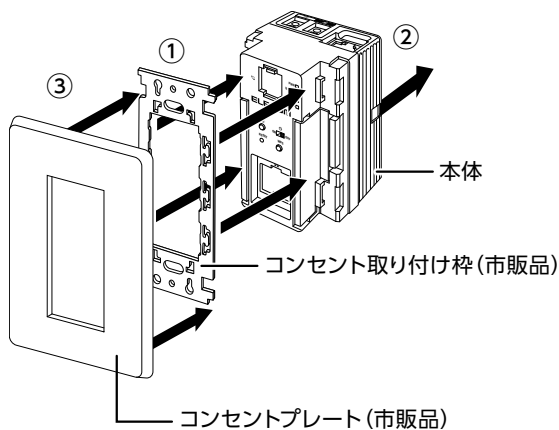
電話線の配線は[工事担当者]の有資格者が必ず施工してください。

無資格者の設置・施工作业によって発生した損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。

- ① LANケーブルをLANポートに接続します。
- ② TELケーブルの先端8～9mmを出し、TEL接続端子に挿し込みます。



3 コンセントボックス内に設置します。

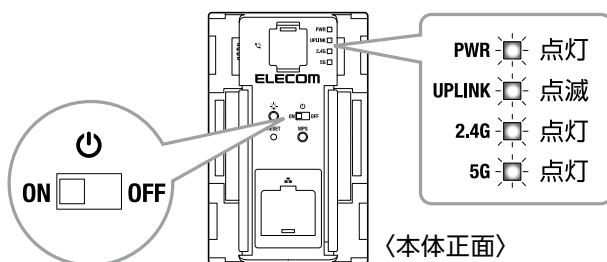


- ① 本体正面側より、ご使用になるコンセント取り付け枠をはめ込みます。
- ② コンセントボックスに本製品を取り付けます。
- ③ コンセントプレートを取り付けます。

4 電源(ブレーカー)をONにした後、本製品の正面にある電源スイッチをONにします。

本製品のLEDが下図の状態になっていることを確認します。

(起動完了まで約1分程度かかります)



主な設定

管理画面を表示する	21
IP アドレスを設定する	24
管理者情報の設定を変更する	26

管理画面を表示する

本手順では本製品をスタンドアローン環境で設定する場合の手順で説明しています。DHCP環境で設定される場合は、初期導入向けのアクセスポイント検索ツールもご用意しております。

詳しくは下記ページの「マニュアル」→「【初期導入向け検索ツール】法人向け無線アクセスポイント検索ツール WAB-MAT Lite」をご確認ください。

<https://www.elecom.co.jp/products/WAB-MAT.html>

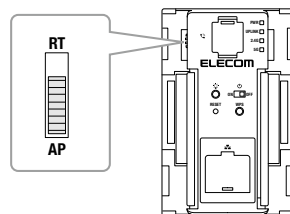


1 本製品の動作モードを確認します。

本製品を設置する環境に応じていずれかの位置にスイッチを切り替えます。

RT：本製品をルーターとして使用する場合。

AP：本製品をアクセスポイントとして使用する場合。

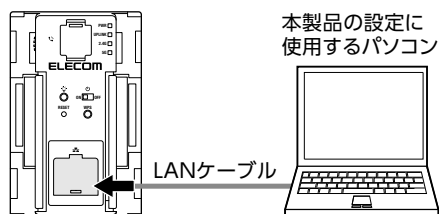


重要

動作モードを切り替えるときは、必ず本製品の電源を切った状態でスイッチをスライドし、電源を入れなおしてください。

2 本製品の設定に使用するパソコンをLAN接続します。

本製品のLANポートに、設定に使用するパソコンをLANケーブルで接続します。



3 本製品をAPモードで使用する場合、設定に使用するパソコンのネットワークを設定します。

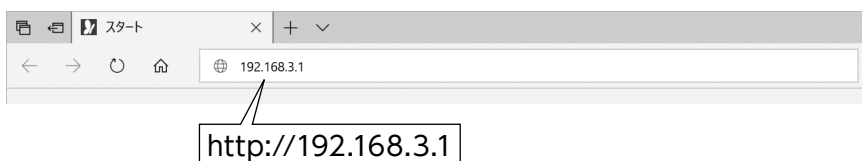
本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを次のように設定します。

IPアドレス	192.168.3.2
サブネットマスク	255.255.255.0

4 設定画面へアクセスします。

- ① パソコンでWebブラウザ^{*}を起動し、アドレスバーにIPアドレス[192.168.3.1]を入力します。

^{*}Safari、Chrome、Microsoft Edge、Internet Explorerなど



- ② ユーザー名に[admin]、パスワードに「管理者情報シート」に記載された「管理者パスワード(初期値)」の8ケタ英数字を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

ログイン

http://192.168.3.1

このページは、お使いのWebブラウザによって自動的に読み込まれます。

ユーザー名:

パスワード:

ユーザー名: admin

パスワード:

型番	WAB-S1167IW-AC
S/N	YMLJJJJXXXXXA
MACアドレス [PD(1M)]	123456ABCDE
管理者パスワード [初期値]	XXXXXXXX

管理者情報シート
(本製品に付属しています)

設定画面が表示されます。

ELECOM » Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

システム構成
システム情報
LAN設定IPアドレス
LANポート
VLAN
ログ
Syslogサーバー
動作モード
アクセスポイントモード

システム情報

システム

モデル	WAB-S1167IW series
製品名	WAB04AB18CD5318
起動時設定ファイル	内部メモリ
Boot-Loader Version	1.0.0
バージョン	1.1.28
MACアドレス	04-AB-18-CD-53-18
管理用VLAN ID	1

LAN設定

IPアドレス	192.168.3.1	更新
デフォルトゲートウェイ	---	
DNS	---	
DHCPサーバー	---	

有線LANポート	ステータス	VLANモード / ID
背面LANポート (PD)	接続 (1000Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1
正面LANポート	接続 (1000Mbps全二重通信方式)	タグなしポート / 1

無線 11b/g/n

ステータス	有効
MACアドレス	04-AB-18-CD-53-1A
チャンネル	自動
送信出力	100%

SSID	認証方式	暗号化タイプ	VLAN ID	セパレータ機能
elecom2g01-cd531a	WPA2-PSK	AES	1	無効

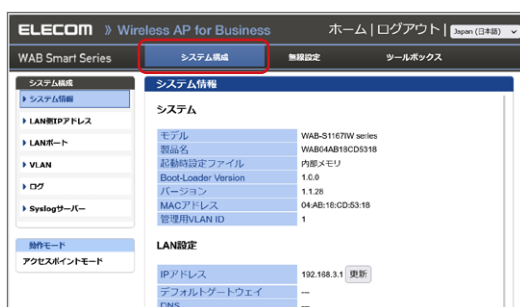
無線 11a/n/ac

IPアドレスを設定する

本製品の管理画面にアクセスする IP アドレス設定は、アクセスポイントモードでは「DHCP クライアント」となっています。

上位に設置した DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスで利用する場合は、設定変更不要です。

1 設定画面上部の「システム構成」をクリックします。



2 「LAN側IPアドレス」をクリックします。



3 下記項目を入力し、「適用」をクリックします。

IP アドレス割り当て	[固定 IP アドレス] を選択
IP アドレス	
サブネットマスク	環境に応じた数値を入力します。
デフォルトゲートウェイ	

4 設定が保存され再起動が行われます。

カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。

IP アドレス設定変更後、設定画面にアクセスする際は、新しく設定した IP アドレスを利用してください。

管理者情報の設定を変更する

1 設定画面上部の「ツールボックス」をクリックします。



2 「管理者」をクリックします。



3 新しい「管理者名」と「管理者パスワード」、確認用の「管理者パスワード」を入力後、「適用」をクリックします。



● 使用可能な文字

管理者名	半角英数字および「-」で 4 ～ 16 文字 ※ 「-」は先頭と末尾には設定できません。
管理者パスワード	半角英数字および半角記号で 1 ～ 32 文字

4 設定が保存され再起動が行われます。

カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。

管理者情報設定変更後、設定画面にアクセスする際は、新しく設定した管理者情報を利用してください。

設定リファレンス編

各メニューについて	29
システム構成	29
無線設定	31
ツールボックス	32
システム構成	34
システム情報	34
LAN側IPアドレス	35
LANポート	37
VLAN	39
WAN設定	41
基本設定	41
DDNS	51
DMZ	53
ポートフォワーディング	54
LAN設定	56
基本設定	56
LANポート	57
固定DHCP設定	58
MACフィルター(有線)	60
QoS	62
リダイレクト機能	63
ログ	64
Syslogサーバー	65
無線設定	66
WPS	66

2.4GHz / 5GHz	68
基本設定	68
詳細設定	71
セキュリティ	74
クライアント	79
MAC フィルター (無線)	80
RADIUS	82
RADIUS 設定	82
ワイヤレスモニター	84
ツールボックス	85
管理者	85
アクセス設定	88
日時	91
アドミリンク	93
基本設定	93
詳細設定	95
設定を保存 / 復元	97
初期化	99
ファームウェア更新	100
ファームウェア更新	100
ファームウェア確認	101
節電	107
再起動スケジュール	109
LED 設定	110
再起動	111

各メニューについて

■ システム構成

メニュー項目	内容	各モード時の表示	
		アクセス ポイント	ルーター
システム情報	本製品の IP アドレスや本製品のシステム情報などを表示します。 → 34 ページ	○	○
LAN 側 IP アドレス	LAN 側の IP アドレス、DNS サーバーの設定を行います。 → 35 ページ	○	—
LAN ポート	有線 LAN ポートの設定を行います。 → 37 ページ	○	—
VLAN	インターフェイス VLAN の設定を行います。 → 39 ページ	○	—
WAN 設定			
基本設定	WAN の基本的な設定を行います。 → 41 ページ	—	○
DDNS	DDNS の設定を行います。 → 51 ページ	—	○
DMZ	指定した端末に WAN 側からアクセスできるように設定することができます。 → 53 ページ	—	○
ポートフォワーディング	ポート転送の設定をします。 → 54 ページ	—	○
LAN 設定			
基本設定	子機モード時に LAN の設定を行います。 → 56 ページ	—	○
LAN ポート	有線 LAN ポートの設定を行います。 → 57 ページ	—	○
固定 DHCP 設定	特定の端末に固有の IP アドレスを設定できます。 → 58 ページ	—	○

メニュー項目	内容	各モード時の表示	
		アクセス ポイント	ルーター
MAC フィルター (有線)	MAC フィルターの設定を行います。 → 60 ページ	—	○
QoS	QoS の設定を行います。 → 62 ページ	—	○
リダイレクト機能	リダイレクト機能を設定します。 → 63 ページ	—	○
ログ	システムログを表示します。 → 64 ページ	○	○
Syslog サーバー	Syslog サーバーの設定を行います。 → 65 ページ	○	○

■ 無線設定

メニュー項目	内容	各モード時の表示	
		アクセス ポイント	ルーター
WPS	WPS 機能による接続ができます。 → 66 ページ	○	○
2.4 / 5GHz			
基本設定	無線設定の基本的な設定を行います。 → 68 ページ	○	○
詳細設定	無線設定の詳細設定を行います。 → 71 ページ	○	○
セキュリティ	無線設定のセキュリティ設定を行います。 → 74 ページ	○	○
クライアント	本製品と通信をしている無線機器の情報が表示 されます。 → 79 ページ	○	○
MAC フィルター (無線)	登録した MAC アドレスを持つ無線子機のみ通 信を許可したり、拒否する設定をします。 → 80 ページ	○	○
RADIUS	無線機器の認証などで使用する RADIUS サー バーを設定します。 → 82 ページ	○	○
ワイヤレスモニター	本製品に接続している無線子機を表示します。 本製品に接続する機器を MAC アドレスによっ てフィルタリングすることもできます。 → 84 ページ	○	○

■ ツールボックス

メニュー項目	内容	各モード時の表示	
		アクセス ポイント	ルーター
管理者	本製品の設定画面にログインするためのアカウントや本製品の詳細設定について設定します。 → 85 ページ	○	○
アクセス設定	管理画面／SNMP へのアクセス設定を行います。 → 88 ページ	○	○
日時	本製品の内部時計を設定します。日付と時刻、NTP サーバー、タイムゾーンを設定できます。 → 91 ページ	○	○
アドミリンク			
基本設定	アドミリンク機能を有効にすることができます。 → 93 ページ	○	○
詳細設定	アドミリンク機能の詳細設定を行います。 → 95 ページ	○	○
設定を保存／復元	設定内容を復元したり、バックアップすることができます。 → 97 ページ	○	○
初期化	工場出荷時の状態に戻します。 → 99 ページ	○	○
ファームウェア更新			
ファームウェア更新	ファームウェアを更新することができます。 → 100 ページ	○	○
ファームウェア確認	最新のファームウェアがあるか確認する時間や通知するメールアドレスなどを設定することができます。 → 101 ページ	○	○
節電	節電機能を有効にすることができます。 → 107 ページ	○	○
再起動スケジュール	再起動スケジュールを設定することができます。 → 109 ページ	○	○

LED 設定	本体 LED ランプのオン／オフを設定します。 → 110 ページ	○	○
再起動	本製品を再起動します。 → 111 ページ	○	○

システム構成

システム情報

アクセスポイントモード

ルーターモード

本製品の IP アドレスや本製品に接続している機器の情報などを表示します。

ELECOM » Wireless AP for Business

ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series

システム構成

無線設定

ツールボックス

システム構成

システム情報

LAN設定

無線11b/g/n

無線11a/n/ac

システム情報

システム

モデル: WAB-S1167IW series

製品名: WAB04AB18CD5318

起動時設定ファイル: 内部メモリ

Boot-Loader Version: 1.0.0

バージョン: 1.1.28

MACアドレス: 04:AB:18:CD:53:18

管理用VLAN ID: 1

LAN設定

IPアドレス: 192.168.3.1

デフォルトゲートウェイ: ---

DNS: ---

DHCPサーバー: ---

有線LANポート: ステータス: VLANモード / ID

背面LANポート (PD): 接続 (1000Mbps全二重通信方式): タグなしポート / 1

正面LANポート: 接続 (1000Mbps全二重通信方式): タグなしポート / 1

無線 11b/g/n

ステータス: 有効

MACアドレス: 04:AB:18:CD:53:1A

チャンネル: 自動

送信出力: 100%

SSID: elecom2g01-cd531a

認証方式: WPA2-PSK

暗号化タイプ: AES

VLAN ID: 1

セパレータ機能: 無効

IPアドレスをDHCPで自動取得している場合は、IPアドレスを再取得します。

項目	内容
システム	本製品に関する情報を表示します。モードによって表示は異なります。
LAN 設定	LAN 設定を表示します。
無線 11b/g/n	本製品の 2.4GHz に関する状態と 2.4GHz 帯に接続している機器を表示します。
無線 11a/n/ac	本製品の 5GHz に関する状態と 5GHz 帯に接続している機器を表示します。

LAN 側 IP アドレス

アクセスポイントモード

有線 LAN の IP アドレスの割り当てなどについて設定します。

ELECOM » Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語) ▼

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

システム構成

- システム情報
 - ▶ LAN側IPアドレス
 - ▶ LANポート
 - ▶ VLAN
 - ▶ ログ
 - ▶ Syslogサーバー
- 動作モード
 - ▶ アクセスポイントモード

LAN側IPアドレス

LAN側IPアドレス

IPアドレス割り当て: DHCPクライアント ▼

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ: DHCP ▼

DNSサーバー

プライマリアドレス: DHCP ▼

セカンダリアドレス: DHCP ▼

適用

項目	内容		
LAN 側 IP アドレス	IP アドレス 割り当て	IP アドレスの割り当て方法を次の中から選択します。 (初期値：DHCP クライアント)	
		DHCP クライアント	DHCP サーバーから IP アドレスやサブネットマスクなどの必要な情報を自動的に割り当てます。
		固定 IP アドレス	IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。
	IP アドレス	「IP アドレス割り当て」の設定を「固定 IP アドレス」とした場合は固定 IP アドレスを設定します。(初期値：192.168.3.1) 「IP アドレス割り当て」の設定を「DHCP クライアント」とした場合は、取得した IP アドレスが表示されます。	
	サブネットマスク	「IP アドレス割り当て」の設定を「固定 IP アドレス」とした場合はサブネットマスクを設定します。 (初期値：255.255.255.0) 「IP アドレス割り当て」の設定を「DHCP クライアント」とした場合は、取得したサブネットマスクが表示されます。	
デフォルト ゲートウェイ	DHCP	DHCP サーバーからデフォルトゲートウェイの IP アドレスを割り当てます。	
	ユーザー定義	デフォルトゲートウェイを手動で設定します。	

項目	内容				
DNS サーバー	プライマリアドレス	DNS サーバーのプライマリアドレスの割り当て方法を次の中から選択します。(初期値：DHCP)			
		<table><tr><td>DHCP</td><td>DHCP サーバーから DNS サーバーのプライマリアドレスを自動的に割り当てます。</td></tr><tr><td>ユーザー定義</td><td>DNS サーバーのプライマリアドレスを手動で設定します。(初期値：空欄)</td></tr></table>	DHCP	DHCP サーバーから DNS サーバーのプライマリアドレスを自動的に割り当てます。	ユーザー定義
	DHCP	DHCP サーバーから DNS サーバーのプライマリアドレスを自動的に割り当てます。			
ユーザー定義	DNS サーバーのプライマリアドレスを手動で設定します。(初期値：空欄)				
セカンダリアドレス	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。 (「プライマリアドレス」を「ユーザー定義」に設定した場合) (初期値：空欄)				

LAN ポート

アクセスポイントモード

本製品の LAN ポートについて設定します。

The screenshot shows the configuration page for the LAN port. The left sidebar lists navigation options: システム構成, システム情報, LAN側IPアドレス, LANポート (selected), VLAN, ログ, Syslogサーバー, 動作モード, and アクセスポイントモード. The main content area is titled 'LANポート' and contains a section for '有線LANポートの設定' (Wired LAN Port Settings). This section includes a table with columns for the port type, status, speed/communication method, flow control, and 802.3az. The '有線LANポート' is set to '有効' (Enabled), '速度と通信方式' is set to '自動' (Automatic), 'フロー制御' is set to '有効' (Enabled), and '802.3az' is set to '有効' (Enabled). A '適用' (Apply) button is at the bottom right of the settings table.

項目	内容											
有線 LAN ポートの設定	有線 LAN ポート											
	本製品に搭載された LAN ポートの名称が表示されます。											
	有効											
	無効に設定すると、LAN ポートでの通信ができなくなります。											
	イーサネットの通信速度と通信方式を次の中から選択します。(初期値：自動)											
	速度と通信方式											
	<table border="1"> <tr> <td>自動</td><td>自動的に接続先の機器とのネゴシエーションを行い、適切な通信速度の設定が設定されます。 通常は、「自動」を選択してください。 接続先の機器を自動的に判別できない場合は、他の設定を選択してください。</td></tr> <tr> <td>10Mbps 半二重通信方式</td><td>10BASE-T、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。</td></tr> <tr> <td>10Mbps 全二重通信方式</td><td>10BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。</td></tr> <tr> <td>100Mbps 半二重通信方式</td><td>100BASE-TX、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。</td></tr> <tr> <td>100Mbps 全二重通信方式</td><td>100BASE-TX、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。</td></tr> <tr> <td>1000Mbps 全二重通信方式</td><td>1000BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。</td></tr> </table>	自動	自動的に接続先の機器とのネゴシエーションを行い、適切な通信速度の設定が設定されます。 通常は、「自動」を選択してください。 接続先の機器を自動的に判別できない場合は、他の設定を選択してください。	10Mbps 半二重通信方式	10BASE-T、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。	10Mbps 全二重通信方式	10BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。	100Mbps 半二重通信方式	100BASE-TX、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。	100Mbps 全二重通信方式	100BASE-TX、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。	1000Mbps 全二重通信方式
自動	自動的に接続先の機器とのネゴシエーションを行い、適切な通信速度の設定が設定されます。 通常は、「自動」を選択してください。 接続先の機器を自動的に判別できない場合は、他の設定を選択してください。											
10Mbps 半二重通信方式	10BASE-T、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。											
10Mbps 全二重通信方式	10BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。											
100Mbps 半二重通信方式	100BASE-TX、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。											
100Mbps 全二重通信方式	100BASE-TX、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。											
1000Mbps 全二重通信方式	1000BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。											

項目	内容	
有線 LAN ポートの設定	フロー制御	フロー制御の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：有効) 「有効」に設定すると、受信側のバッファがあふれ、データの取りこぼし（オーバーフロー）を検出したときに、通信を制御します。
	802.3az	IEEE802.3az の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：有効) 「有効」に設定すると、データの送受信がない待機状態のときに、設定した LAN ポートへの電源供給を止めることで消費電力を減らします。 接続先の機器も IEEE802.3az に対応している必要があります。

VLAN

アクセスポイントモード

LAN ポートおよび無線の VLAN について設定します。

ELECOM
Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

システム構成
システム情報
LAN側IPアドレス
LANポート
VLAN
ログ
Syslogサーバー
動作モード
アクセスポイントモード

VLAN

インターフェイスVLAN

有線LANポート	VLANモード	VLAN ID
背面LANポート (PD)	タグなしポート	1
正面LANポート	タグなしポート	1
無線 2.4GHz	VLANモード	VLAN ID
SSID ["elecom2g01-cd51b2"]	タグなしポート	1
SSID [""]	タグなしポート	
SSID [""]	タグなしポート	
SSID [""]	タグなしポート	
無線 5GHz	VLANモード	VLAN ID
SSID ["elecom5g01-cd51b3"]	タグなしポート	1
SSID [""]	タグなしポート	
SSID [""]	タグなしポート	
SSID [""]	タグなしポート	

管理用VLAN

VLAN ID	1
---------	---

適用

項目	内容			
インターフェイス VLAN	有線 LAN ポート 本製品に搭載された LAN ポートの名称が表示されます。			
	無線 2.4GHz 2.4GHzで有効な SSID が表示されます。			
	無線 5GHz 5GHzで有効な SSID が表示されます。			
	VLAN の設定をします。(初期値：タグなしポート)			
	<table> <tr> <td>VLAN モード</td><td> タグなしポート LAN ポートをタグなしのポートとして設定します。 設定した VLAN ID のフレームのみがこのポートへ転送されます。 </td></tr> <tr> <td></td><td> タグ付きポート LAN ポートをタグ付きのポートとして設定します。 ポートで送受信するすべてのフレームに IEEE802.1Q 準拠の VLAN タグが付与されます。 受信したフレームをすべて転送することができます。 </td></tr> </table>	VLAN モード	タグなしポート LAN ポートをタグなしのポートとして設定します。 設定した VLAN ID のフレームのみがこのポートへ転送されます。	
VLAN モード	タグなしポート LAN ポートをタグなしのポートとして設定します。 設定した VLAN ID のフレームのみがこのポートへ転送されます。			
	タグ付きポート LAN ポートをタグ付きのポートとして設定します。 ポートで送受信するすべてのフレームに IEEE802.1Q 準拠の VLAN タグが付与されます。 受信したフレームをすべて転送することができます。			

項目	内容	
インターフェイス VLAN	VLAN ID	「VLAN モード」で「タグなしポート」を選択した場合に、インターフェイス VLAN に関連づける VLAN のネットワーク ID を 1 ～ 4094 の範囲で入力します。(初期値: 1) VLAN ID が異なる LAN ポートやネットワークと通信することはできません。
管理用 VLAN	VLAN ID	管理用 VLAN のネットワーク ID を 1 ～ 4094 の範囲で入力します。(初期値: 1)

MEMO

● 有線 LAN から管理用 VLAN へのアクセスできるようにするために、VLAN の設定を次のいずれかの条件に適合させてください。

- ・ いずれかの LAN ポートがタグ付きポート
- ・ 両方の LAN ポートがタグなしポートの場合は、いずれかのポートの VLAN ID が管理 VLAN ID と同じ

重要

VLAN 設定を変更した場合は、操作が中断されることがあります。

WAN 設定

ルーターモード

WAN（インターネット）側の設定を行います。

いずれかを選択するかで、設定画面が異なります。（初期値：自動判定）

設定可能な WAN アクセスタイプ：自動判定／固定 IP アドレス／DHCP／PPPoE／transix（固定 IP）／「v6 プラス」固定 IP サービス

■ 基本設定

● 自動判定の場合

基本設定

WAN 設定

WANアクセスタイプ

自動判定

現在の接続タイプ：DHCP

その他

DNS リバインディングプロテクション

☐有効
☒無効

適用

項目	内容	
WAN 設定	WAN アクセスタイプ	特に指定がない場合は、自動判定で設定を行ってください。
現在の接続タイプ	自動判定で識別した WAN 回線を表示します。 自動判定が可能な WAN アクセスタイプは、DHCP、v6 プラス、OCN バチャルコネクト、transix です。	
その他	DNS リバインディングプロテクション	DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。（初期値：無効）

● 固定IPアドレスの場合

基本設定	
WAN 設定	
WANアクセスタイプ	固定IPアドレス ▼
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
MTUサイズ	1500 (1400-1500/バイト)
DNSサーバー	
DNS1	
DNS2	
その他	
UPnP	☐ 有効 ☒ 無効
IPv6 パススルー	☐ 有効 ☒ 無効
WAN側からのpingに対する応答	☐ 有効 ☒ 無効
HW NAT	☒ 有効 ☐ 無効
DNS リバインディングプロテクション	☐ 有効 ☒ 無効
適用	

項目	内容
WAN 設定	WAN アクセスタイプ 「固定 IP アドレス」を選択します。
	IP アドレス プロバイダーから提供された情報を入力します。
	サブネットマスク
	デフォルトゲートウェイ
	MTU サイズ MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位: バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。 (設定範囲: 1400-1500 初期値: 1500 バイト)
DNS サーバー	DNS1 プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
	DNS2 プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。

項目	内容	
その他	UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
	IPv6 パススルー	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効／無効を設定します。 IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。(初期値：無効)
	WAN 側からの ping に対する応答	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)
	HW NAT	有効にすると、ハードウェアで通信処理を行います。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。(初期値：有効)
	DNS リバインディングプロテクション	DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)

● DHCPの場合

基本設定	
WAN 設定	
WANアクセスタイプ	DHCP
MTUサイズ	1500 (1400-1500/バイト)
DNSサーバー	
DNSサーバーアドレス	☒ 自動取得 ☐ 手動
DNS1	192.168.3.2
DNS2	
その他	
UPnP	☐ 有効 ☒ 無効
IPv6 パススルー	☐ 有効 ☒ 無効
WAN側からのpingに対する応答	☐ 有効 ☒ 無効
HW NAT	☒ 有効 ☐ 無効
DNS リバインディングプロテクション	☐ 有効 ☒ 無効
適用	

項目	内容
WAN 設定	WAN アクセスタイプ 「DHCP」 を選択します。
	MTU サイズ MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位: バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。 (設定範囲: 1400-1500 初期値: 1500 バイト)
DNS サーバー	DNS サーバーアドレス プロバイダーより自動的に DNS サーバーのアドレスを取得する場合に「自動取得」を選択します。プロバイダーより指定がある場合は「手動」を選択します。
	DNS1 プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
	DNS2 プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。

項目	内容	
その他	UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
	IPv6 パススルー	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効／無効を設定します。 IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。(初期値：無効)
	WAN 側からの ping に対する応答	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)
	HW NAT	有効にすると、ハードウェアで通信処理を行います。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。(初期値：有効)
	DNS リバインディングプロテクション	DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)

● PPPoE の場合

基本設定	
WAN 設定	
WANアクセスタイプ	PPPoE ▼
ユーザー名	(最大57文字)
パスワード	(最大57文字)
MTUサイズ	1454 (1360-1454/バイト)
DNSサーバー	
DNSサーバーアドレス	☒ 自動取得 ☐ 手動
DNS1	192.168.3.2
DNS2	
その他	
UPnP	☐ 有効 ☒ 無効
IPv6 パススルー	☐ 有効 ☒ 無効
WAN側からのpingに対する応答	☐ 有効 ☒ 無効
HW NAT	☒ 有効 ☐ 無効
DNS リバインディングプロテクション	☐ 有効 ☒ 無効
適用	

項目	内容
WAN 設定	WAN アクセスタイプ 「PPPoE」を選択します。
	ユーザー名 プロバイダーから提供されたユーザー名を入力します。 (最大 57 文字) ユーザー ID に「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) userID123@elecom.net ユーザー名 プロバイダー 識別子
	パスワード プロバイダーから提供されたパスワードを入力します。 (最大 57 文字)
	MTU サイズ MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位: バイト) を設定します。通常は変更する必要はありません。 (設定範囲: 1360-1454 初期値: 1454 バイト)
※ ユーザー名およびパスワードには、以下の文字を使用できます。 「a ～ z」、「A ～ Z」、「0 ～ 9」、「」（スペース）、「_」（アンダースコア）、「@」、「\$」、「!」、「:」、「*」、「#」、「%」、「/」、「-」、「+」、「 」、「=」（すべて半角文字）	

項目	内容	
DNS サーバー	DNS サーバーアドレス	プロバイダーより自動的に DNS サーバーのアドレスを取得する場合に「自動取得」を選択します。プロバイダーより指定がある場合は「手動」を選択します。
	DNS1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個の場合は、こちらにだけ入力します。プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、プライマリの DNS アドレスを入力します。
	DNS2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個の場合は、セカンダリの DNS アドレスを入力します。
その他	UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
	IPv6 パススルー	プロバイダーから提供される IPv6 サービスを、本製品を経由して利用できるようにする「IPv6 ブリッジ」機能の有効／無効を設定します。IPv6 サービスを利用する場合でも、本製品を経由しない場合は無効のままでもかまいません。(初期値：無効)
	WAN 側からの ping に対する応答	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)
	HW NAT	有効にすると、ハードウェアで通信処理を行います。ソフトウェアでの通信処理に比べ、パケットロスを抑えて高速スループットを実現します。光回線などの高速通信を維持したまま、無線を利用できるため、スマートフォンなどの Wi-Fi 接続に最適です。(初期値：有効)
	DNS リバインディングプロテクション	DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)

● transix(固定IP)の場合

基本設定

WAN 設定

WANアクセスタイプ
 トンネル終端IPv6アドレス
 Interface ID
 グローバルIPv4アドレス
 アップデートサーバーユーザーID
 アップデートサーバーパスワード

transix(固定IP) ▼

UPnP
 WAN側からのpingに対する応答
 DNS リバインディングプロテクション

☐ 有効 ☒ 無効

☐ 有効 ☒ 無効

☐ 有効 ☒ 無効

項目	内容	
WAN 設定	WAN アクセスタイプ	「transix (固定 IP)」を選択します。
	トンネル終端 IPv6 アドレス	プロバイダーから提供されたトンネル終端 IPv6 アドレスを入力します。
	Interface ID	プロバイダーから提供された Interface ID を入力します。
	グローバル IPv4 アドレス	プロバイダーから提供されたグローバル IPv4 アドレスを入力します。
	アップデートサーバーユーザー ID	プロバイダーから提供されたアップデートサーバーユーザー ID を入力します。(オプション項目)
	アップデートサーバーパスワード	プロバイダーから提供されたアップデートサーバーパスワードを入力します。(オプション項目)

48

項目	内容						
その他	<table border="1"> <tr> <td>UPnP</td><td>UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)</td></tr> <tr> <td>WAN 側からの ping に対する応答</td><td>WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)</td></tr> <tr> <td>DNS リバインディングプロテクション</td><td>DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)</td></tr> </table>	UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)	WAN 側からの ping に対する応答	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)	DNS リバインディングプロテクション	DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)
UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)						
WAN 側からの ping に対する応答	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)						
DNS リバインディングプロテクション	DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)						

● 「v6プラス」固定IP サービスの場合

基本設定	
WAN 設定	
WANアクセスタイプ	「v6プラス」固定IPサービス ▼
BRアドレス	
指定インターフェイスID	
割当IPv4固定アドレス	
再設定用ユーザー	
再設定用パスワード	
その他	
UPnP	☐ 有効 ☒ 無効
WAN側からのpingに対する応答	☐ 有効 ☒ 無効
DNS リバインディングプロテクション	☐ 有効 ☒ 無効
適用	

項目	内容	
WAN 設定	WAN アクセスタイプ	「[v6 プラス] 固定 IP サービス」を選択します。
	BR アドレス	プロバイダーから提供された BR アドレスを入力します。
	指定インターフェイス ID	プロバイダーから提供された指定インターフェイス ID を入力します。
	割当 IPv4 固定アドレス	プロバイダーから提供された割当 IPv4 固定アドレスを入力します。
	再設定用ユーザー	プロバイダーから提供された再設定用ユーザー ID を入力します。(オプション項目)
	再設定用パスワード	プロバイダーから提供された再設定用パスワードを入力します。(オプション項目)
その他	UPnP	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効／無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP に対応するネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の機器を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：無効)
	WAN 側からの ping に対する応答	WAN (インターネット) 側からの ping に対して応答するかどうかを設定します。 有効にすると、WAN 側からの ping に対して応答します。(初期値：無効)
	DNS リバインディングプロテクション	DNS リバインディングプロテクション機能の有効 / 無効を設定します。(初期値：無効)

■ DDNS

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、ダイナミック DNS のサービス提供者に登録する必要があります。

ダイナミック DNS はサービスプロバイダリストに表示されるサービスでご利用いただけます。

MEMO

● あらかじめ DDNS サービスに登録してください。

DDNS サイトにアクセスしてユーザー登録し、ドメイン名やアカウントなどを取得しておいてください。

● DDNS サービスを利用するにあたって

他社 DDNS サービスへの登録については、弊社のサポート対象外となります。登録に関しては、一切責任を負いかねます。

- ・ SkyLink DDNS とは、対象のエレコムまたはロジテック製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミック DNS サービスです。SkyLink DDNS への登録については、下記 URL で詳細をご確認のうえ、ご利用ください。

<http://www.clear-net.jp/>

- ・ DDNS サービスによっては、定期的に更新をしないと登録が削除されてしまうことがあります。登録の更新は、本製品がインターネットに接続されているときに自動的におこなわれるほか、手動で更新する場合があります。更新時期などの詳細はご利用になる DDNS サイトをご覧ください。
- ・ DDNS サービスを使用する場合、本製品の WAN 側の IP アドレスにプロバイダーからのグローバル IP が割り当てられている状態でご利用ください。

ELECOM Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語) ▼

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

システム構成

- システム情報
- WAN設定
 - 基本設定
 - DDNS
 - DMZ
 - ポートフォワーディング
- LAN設定
 - 基本設定
 - LANポート
 - 固定DHCP設定

DDNS

DDNS ☐ 有効 ☒ 無効

サービスプロバイダ SkyLink DDNS ▼

ユーザー名

パスワード

適用 キャンセル

項目	内容	
DDNS	DDNS	ダイナミックDNS 機能の有効／無効を設定します。 (初期値：無効)
	サービスプロバイダー	リストからサービスを選択します。 「SkyLinkDDNS」または「Dyn DNS」が選択可能です。
	ドメイン名 (DynDNS のみ)	登録したドメイン名を入力します。
	ユーザー名	登録したアカウントを入力します。DDNS サービスによってはアカウントが E メールアドレスの場合があります。
	パスワード	設定したパスワードを入力します。

■ DMZ

通常、NAT 変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側から LAN 上の機器にアクセスすることはできません。

DMZ 機能を使用すると、指定した端末に WAN 側からアクセスできるようになります。これにより、LAN 上からは通常使用できない双方向通信を利用したサービスを利用できます。

重要

設定をおこなう前に、接続先の端末がセキュリティ設定済みであるか、確認してください。

項目	内容	
DMZ	DMZ	DMZ 機能の有効 / 無効を設定します。 (初期値：無効)
	DMZ IP アドレス	インターネット（外部）に公開する対象となるクライアントの IP アドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。 例 192.168. 3.13

■ ポートフォワーディング

ポート転送（ポートフォワーディング）機能を設定します。

通常、NAT 変換を利用するルーターでは、WAN（インターネット）側から LAN 上の機器にアクセスすることはできませんが、この機能を利用することで、LAN 上にある指定された機器を WAN 側に開放することができます。

重要

この機能を利用する場合で本製品の DHCP サーバー機能を有効にしているときは、58 ページ「固定 DHCP 設定」で、ポートフォワーディングの対象となるクライアントの IP アドレスを固定するようにしてください。

DHCP サーバー機能により動的に IP アドレスが変更されると、意図しない機器が WAN 側に開放される恐れがあります。

項目	内容
ポートフォワーディング	ポートフォワーディング機能の有効 / 無効を設定します。(初期値:無効)
ローカル IP アドレス	ポートフォワーディングの対象となるクライアントの IP アドレスを入力します。
タイプ	プロトコルのタイプを選択します。(初期値: 両方)

項目	内容
ポート番号	インターネット側から見た送信先のポート番号を入力します。ポート番号の範囲指定は行えません。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。
追加	設定した内容を確定し、リストに追加します。
ポートフォワーディング 設定リスト	入力画面で設定した内容をリストとして表示します。 削除したいときは、「選択」にチェックを入れ、「選択を削除」をクリックします。

LAN 設定

ルーターモード

LAN 側の設定を行います。

■ 基本設定

The screenshot shows the 'LAN 設定' (LAN Settings) page in the ELECOM Wireless AP for Business web interface. The left sidebar contains a menu with 'システム構成' (System Configuration) expanded, showing 'システム情報' (System Information), 'WAN 設定' (WAN Settings), 'LAN 設定' (LAN Settings), and 'QoS'. Under 'LAN 設定', '基本設定' (Basic Settings) is selected. The main content area shows the 'LAN 設定' (LAN Settings) section with the following fields:

基本設定	
LAN 設定	
IPアドレス	192.168.3.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCP範囲	192.168.3.100 - 192.168.3.200 接続端末の表示
DHCPリース時間	48 (1~168時間) 適用 キャンセル

項目	内容	
LAN 設定	IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。初期値は「192.168.3.1」です。
	サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
	DHCP 範囲	DHCP サーバーがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 開始の初期値: 192.168.3.100 終了の初期値: 192.168.3.200 「接続端末の表示」をクリックすると、DHCP で接続中の端末の一覧が表示されます。
	DHCP リース時間	DHCP サーバーによりクライアントに割り当てられる IP アドレスのリース時間を設定します。1～168 時間までの範囲で設定できます。初期値は 48 時間です。 指定時間を過ぎると DHCP サーバーより IP アドレスを再取得します。

■ LANポート

The screenshot shows the configuration interface for an ELECOM Wireless AP. The left sidebar contains a menu with options: システム構成 (System Configuration), システム情報 (System Information), WAN設定 (WAN Settings), 基本設定 (Basic Settings), WAN側アクセス (WAN Side Access), DDNS, DMZ, and ポートフォワーディング (Port Forwarding). The main area is titled 'LANポート' (LAN Port) and contains a section '有線LANポートの設定' (Wired LAN Port Settings). This section includes a table with settings for three types of LAN ports: 有線LANポート (Wired LAN Port), 背面LANポート (PD) (Rear LAN Port (PD)), and 正面LANポート (Front LAN Port). Each port has a status dropdown (all set to '有効' / Enabled), a speed and communication mode dropdown (all set to '自動' / Auto), a flow control dropdown (all set to '有効' / Enabled), and an IEEE 802.3az dropdown (all set to '有効' / Enabled). A '適用' (Apply) button is at the bottom right.

有線LANポート	有効	速度と通信方式	フロー制御	802.3az
有線LANポート	有効	自動	有効	有効
背面LANポート (PD)	有効	自動	有効	有効
正面LANポート	有効	自動	有効	有効

適用

項目	内容			
有線 LAN ポートの設定	有効	無効に設定すると、LAN ポートでの通信ができなくなります。		
	速度と通信方式	イーサネットの通信速度と通信方式を次の中から選択します。(初期値：自動)		
		自動	自動的に接続先の機器とのネゴシエーションを行い、適切な通信速度の設定が設定されます。通常は、「自動」を選択してください。接続先の機器を自動的に判別できない場合は、他の設定を選択してください。	
		10Mbps 半二重通信方式	10BASE-T、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。	
		10Mbps 全二重通信方式	10BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。	
		100Mbps 半二重通信方式	100BASE-TX、半二重 (Half Duplex) 通信方式で通信します。	
		100Mbps 全二重通信方式	100BASE-TX、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。	
		1000Mbps 全二重通信方式	1000BASE-T、全二重 (Full Duplex) 通信方式で通信します。	
	フロー制御	フロー制御の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値：有効) 「有効」に設定すると、受信側のバッファがあふれ、データの取りこぼし（オーバーフロー）を検出したときに、通信を制御します。		
	802.3az	IEEE802.3az の「有効」または「無効」を設定します。(初期値：有効) 「有効」に設定すると、データの送受信がない待機状態のときに、Ether ポートへの電源供給を止めることで消費電力を減らします。接続先の機器も IEEE802.3az に対応している必要があります。		

■ 固定DHCP設定

特定の端末に固定IP アドレスを割り振ります。通常、クライアントには自動的にIPアドレスが割り当てられますが、クライアントのネットワーク機器などの問題で、特定のIPアドレスを割り当てたい場合などに使用します。

クライアントのMACアドレスと指定したいIPアドレスを関連づけて登録することができます。最大20件まで設定できます。

項目	内容
固定 DHCP の有効	有効 固定 DHCP リストにある内容が有効になりクライアントの IP アドレスが固定されます。
	無効 リストにクライアントの IP アドレスが登録されていても無効にチェックが入っている場合は IP アドレスは固定されません。
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。(例：192.168.3.100) ※ DHCP 範囲以外の IP アドレスでも設定可能ですが、割り当て範囲外のため設定は無効となります。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。 ※ MAC アドレスは「:」で区切らないで入力します。(例：0090fe0123ab)
コメント	機器を区別するための名称などを必要に応じて入力します。 (最大半角 20 文字または全角 10 文字)
追加	設定したクライアントを固定 DHCP リストに追加します。

項目	内容
固定 DHCP リスト	IP アドレスを固定設定したクライアントのリストが表示されます。 リストから削除したい場合は、「選択」をチェック後、「選択を削除」をクリックします。

■ MACフィルター(有線)

登録した MAC アドレスをもつ有線機器の通信を許可または拒否します。
登録された MAC アドレス以外の機器からのアクセスを許可または拒否することで、第三者からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

The screenshot shows the 'MACフィルター(有線)' (MAC Filter (Wired)) configuration page. The left sidebar contains a tree view with 'システム構成' (System Configuration) expanded, showing sub-items like 'システム情報', 'WAN設定', 'LAN設定', and 'QoS'. The 'LAN設定' (LAN Settings) section is further expanded to show '基本設定', 'LANポート', '固定DHCP設定', and 'MACフィルター(有線)'. The main content area has a title 'MACフィルター(有線)' and a subtitle 'MACフィルターを設定する'. It features a 'フィルター設定' (Filter Setting) dropdown menu currently set to '無効' (None), with an '適用' (Apply) button. Below this is a section 'MACアドレスをフィルタリングテーブルに追加' (Add MAC Address to Filtering Table) with a radio button selection for '許可リスト' (Permitted List) (selected) and '拒否リスト' (Denied List). A large empty box is provided for input. At the bottom, there is a table titled 'MACアドレスフィルタリングテーブル (許可リスト)' (MAC Address Filtering Table (Permitted List)) with columns 'MACアドレス' (MAC Address) and 'アクション' (Action). Below the table are buttons for '追加' (Add), 'リセット' (Reset), '選択を削除' (Delete Selection), 'すべてを削除' (Delete All), and 'バックアップ' (Backup).

項目	内容						
MAC フィルターを設定する	フィルター設定 「無効」、「許可リストを使用」、「拒否リストを使用」のいずれかを選択し、「適用」をクリックすると、再起動したあとにフィルターが適用されます。						
MAC アドレスをフィルタリングテーブルに追加	「許可リスト」または「拒否リスト」を選択した後、接続を許可したい、または拒否したい無線機器の MAC アドレスを入力し、「追加」をクリックします。 ● MAC アドレスは、以下の書式で入力してください。 <table border="1"> <tr> <td>コロン</td><td>XX:XX:XX:XX:XX:XX</td></tr> <tr> <td>ハイフン</td><td>XX-XX-XX-XX-XX-XX</td></tr> <tr> <td>なし</td><td>XXXXXXXXXXXX</td></tr> </table>	コロン	XX:XX:XX:XX:XX:XX	ハイフン	XX-XX-XX-XX-XX-XX	なし	XXXXXXXXXXXX
コロン	XX:XX:XX:XX:XX:XX						
ハイフン	XX-XX-XX-XX-XX-XX						
なし	XXXXXXXXXXXX						

項目	内容						
	● MACアドレスを複数指定する場合は以下の書式で区切って入力してください。 <table> <tr> <td>カンマ</td><td>XX:XX:XX:XX:XX:XX,XX:XX:XX:XX:XX:XX</td></tr> <tr> <td>スペース</td><td>XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX</td></tr> <tr> <td>改行</td><td>XX:XX:XX:XX:XX:XX</td></tr> </table>	カンマ	XX:XX:XX:XX:XX:XX,XX:XX:XX:XX:XX:XX	スペース	XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX	改行	XX:XX:XX:XX:XX:XX
カンマ	XX:XX:XX:XX:XX:XX,XX:XX:XX:XX:XX:XX						
スペース	XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX						
改行	XX:XX:XX:XX:XX:XX						
MAC アドレスフィルター許可リスト／ MAC アドレスフィルター拒否リスト	<table> <tr> <td>MAC アドレス</td><td>本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する／拒否する無線子機の MAC アドレスが表示されます。</td></tr> <tr> <td>アクション</td><td>リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」ボタンをクリックしてください。</td></tr> <tr> <td>バックアップ</td><td>バックアップボタンをクリックすると、現在登録されている MAC アドレスのリストが保存できます。 ファイル形式：.txt</td></tr> </table>	MAC アドレス	本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する／拒否する無線子機の MAC アドレスが表示されます。	アクション	リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」ボタンをクリックしてください。	バックアップ	バックアップボタンをクリックすると、現在登録されている MAC アドレスのリストが保存できます。 ファイル形式：.txt
MAC アドレス	本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する／拒否する無線子機の MAC アドレスが表示されます。						
アクション	リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」ボタンをクリックしてください。						
バックアップ	バックアップボタンをクリックすると、現在登録されている MAC アドレスのリストが保存できます。 ファイル形式：.txt						

QoS

ルーターモード

QoS は、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信を優先して伝送させたり、帯域幅の目安を確保することができます。例えばストリーミングのように一定の転送速度が確保されないと実用的でないようなサービスを利用するときには有効です。

The screenshot shows the configuration interface for the ELECOM Wireless AP for Business WAB Smart Series. The page is titled "ELECOM Wireless AP for Business" and includes a navigation bar with "ホーム | ログアウト | Japan (日本語)". The main menu on the left lists various settings: システム構成, システム情報, WAN設定, WAN側アクセス, DDNS, DMZ, ポートフォワーディング, LAN設定, LANポート, 固定DHCP設定, MACフィルタ(有線), QoS (selected), リダイレクト機能, ログ, and Syslogサーバー. The QoS settings are displayed in the main area, titled "QoS設定 (アドバンスドユーザー)". Under "ダウンロード/アップロード 帯域幅設定", there are two rows: "ダウンロード帯域幅" and "アップロード帯域幅". Each row has a "QoS" dropdown menu, a radio button for "有効" (checked) or "無効", and a text input field for the bandwidth value (1000 Mbps). The "適用" (Apply) and "キャンセル" (Cancel) buttons are at the bottom right.

項目	内容	
ダウンロード / アップロード帯域幅設定	QoS	QoS 設定の有効／無効を選択します。 (初期値：無効)
	ダウンロード帯域幅	ダウンロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 (初期値：1000Mbps)
	アップロード帯域幅	アップロードで確保する全体の帯域幅を選択します。 (初期値：1000Mbps)

リダイレクト機能

ルーターモード

本製品に接続した端末に、指定したWeb ページを表示させることができます。

ELECOM
Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

システム構成
システム情報
WAN設定
基本設定
WAN側アクセス
DDNS
DMZ
ポートフォワーディング
LAN設定
基本設定
LANポート
固定DHCP設定
MACフィルタ(有線)
QoS
リダイレクト機能
ログ
Syslogサーバー
動作モード
ルーターモード

リダイレクト機能

リダイレクト機能 ☐ 有効 ☒ 無効

リダイレクト先URL

リダイレクト実行周期 24 時間 (0~168)

対象

有線LAN
elecom2g01-cd51b2
elecom5g01-cd51b3

対象外

→
←

適用 キャンセル

項目	内容
リダイレクト機能	リダイレクト機能のオン/オフを切り替えます。
リダイレクト先 URL	端末に表示させる Web ページの URL を設定します。
リダイレクト実行周期	リダイレクトを繰り返し実行する周期を設定します。 0 に設定すると、繰り返しの実行はしません。
対象／対象外	リダイレクト機能の対象にする機器

ログ

アクセスポイントモード

ルーターモード

システムログを表示します。

The screenshot shows the ELECOM Wireless AP for Business web interface. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', 'ホーム | ログアウト |', and a language dropdown set to 'Japan (日本語)'. Below this is a secondary navigation bar with 'WAB Smart Series', 'システム構成' (selected), '無線設定', and 'ツールボックス'. The left sidebar has a 'システム構成' section with sub-items: 'システム情報', 'WAN設定', '基本設定', 'WAN側アクセス', 'DDNS', 'DMZ', 'ポートフォワーディング', 'LAN設定', '基本設定', 'LANポート', '固定DHCP設定', 'MACフィルタ(有線)', 'QoS', 'リダイレクト機能', 'ログ' (selected), and 'Syslogサーバ'. The main content area is titled 'ログ' and displays a scrollable list of system logs. Each log entry includes a timestamp (e.g., 'Aug 23 17:53:39') and a message (e.g., '[LOG][SYSTEM]IPv6 status: IPv6アドレス取得中'). At the bottom of the log list are three buttons: '保存' (Save), 'クリア' (Clear), and '更新' (Refresh).

項目	内容
保存	表示されているログ内容をテキストデータでダウンロードします。ファイル名は「logmsg.log」です。 ログを取得した日時は本製品のシステム設定の日時を表示します。現在時刻でログを取得したい場合は SNTP サーバーから時刻を取得してください。(→ 91 ページ「日時」)
クリア	表示されているログ内容を削除します。
更新	ログ内容を最新の状態に更新します。

MEMO

本製品が再起動されると表示されているログはクリアされます。

Syslog サーバー

アクセスポイントモード

ルーターモード

Syslog サーバーの設定を行います。

The screenshot shows the configuration page for the Syslog Server. The interface is in Japanese. At the top, there's a header with 'ELECOM Wireless AP for Business' and navigation links like 'ホーム | ログアウト | Japan (日本語)'. Below this is a sub-header with 'WAB Smart Series' and tabs for 'システム構成' (System Configuration), '無線設定' (Wireless Settings), and 'ツールボックス' (Toolbox). The left sidebar contains a tree view with categories like 'システム構成', 'WAN設定', 'LAN設定', 'QoS', 'リダイレクト機能', 'ログ', and '動作モード'. The 'ログ' category is expanded, and 'Syslogサーバー' is selected. The main content area is titled 'Syslogサーバー' and contains a checkbox for '有効' (Enabled) and a text input field for 'Syslogサーバー'. Below these are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

項目	内容
転送ログ	「有効」にチェックを入れると、ログを「Syslog サーバー」欄で指定したログサーバーに転送します。

WPS

アクセスポイントモード

ルーターモード

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能の設定をします。

The screenshot shows the WPS configuration interface. On the left is a sidebar with navigation links. The main area is titled 'WPS' and contains the following elements:

- A 'WPS' toggle switch, currently set to '有効' (Enabled).
- A '適用' (Apply) button.
- A 'PIN' field showing '51911713' and a 'PIN生成' (Generate PIN) button.
- A 'プッシュボタンWPS' (Push Button WPS) section with a 'スタート' (Start) button.
- A 'PINによるWPS' (WPS by PIN) section with a 'スタート' (Start) button.
- A 'WPSセキュリティ' (WPS Security) section with a 'WPSステータス' (WPS Status) field showing '設定済' (Set) and a '解除' (Cancel) button.
- Two sections for wireless settings:
 - 無線 2.4 GHz 11b/g/n**: SSID (elecom2g01-cd531a), セキュリティ (WPA2-PSK AES), 暗号化 (187222711238).
 - 無線 5 GHz 11a/n/ac**: SSID (elecom5g01-cd531b), セキュリティ (WPA2-PSK AES), 暗号化 (187222711238).

項目	内容
WPS	PIN 本製品の PIN コードです。子機に入力するために使用します。「PIN 生成」をクリックすると、新しい PIN コードを発行できます。 初期値では PIN コードの桁が少ない場合があります。その場合は、「PIN 生成」をクリックして、新しい PIN コードをご使用ください。
	プッシュボタン WPS 「スタート」をクリックすると、WPS 接続を開始できます。(このとき、PIN コードの入力は必要ありません。)
	PIN による WPS 接続する無線子機の PIN コードを設定します。PIN コードを入力し、「スタート」をクリックします。

項目	内容	
WPS セキュリティ	WPS 機能を実行したときに反映される設定内容を表示します。 「解除」をクリックすると未構成の状態になります。	
	未設定	2.4GHz または 5GHz の設定が未設定です。
	設定済み	2.4GHz、5GHz それぞれの設定が設定済みです。 WPS の接続先となる次の情報が表示されます。 SSID、セキュリティ、暗号化キー
無線 2.4GHz	2.4GHz 帯の接続情報が表示されます。	
無線 5GHz	5GHz 帯の接続情報が表示されます。	

2.4GHz / 5GHz

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)

2.4GHz および 5GHz の無線設定を行います。

■ 基本設定

The screenshot shows the configuration interface for an ELECOM Wireless AP. The left sidebar lists various settings: WPS, 2.4GHz (Basic, Detailed, Security, Client), 5GHz (Basic, Detailed, Security, Client), MAC Filter (Wireless), RADIUS, and RADIUS Settings. The main area is titled '2.4 GHz 基本設定' (2.4 GHz Basic Settings). It includes options for '無線' (Wireless) being enabled, '無線通信モード' (Wireless Communication Mode) set to '11b/g/n', '有効 SSID 数' (Valid SSID Count) set to '1', 'SSID1' set to 'elecom2g01-cd531a', 'VLAN ID' set to '1', 'オートチャンネル' (Auto Channel) being enabled, 'オートチャンネル範囲' (Auto Channel Range) set to 'Ch 1 - 11', 'オートチャンネル間隔' (Auto Channel Interval) set to '2 時間' (2 hours), 'チャンネル帯域幅' (Channel Bandwidth) set to '40 MHz', and 'BSS BasicRateSet' set to 'all'. There are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

項目	内容
無線	無線 LAN 機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値：有効)
無線通信モード	2.4GHz 帯の無線通信モードを次の中から選択します。無線 LAN の帯域によって設定できる項目が異なります。(初期値：2.4GHz 11b/g/n、5GHz 11n/a/ac)
	2.4GHz の場合
	11b IEEE802.11b 規格だけを使用します。
	11g IEEE802.11g 規格だけを使用します。
	11b/g IEEE802.11b 規格と IEEE802.11g 規格を使用します。
	11g/n IEEE802.11g 規格と IEEE802.11n 規格を使用します。
	11b/g/n IEEE802.11b 規格、IEEE802.11g 規格、IEEE802.11n 規格を使用します。
	5GHz の場合
	11a IEEE802.11a 規格だけを使用します。
	11a/n IEEE802.11a 規格と IEEE802.11n 規格を使用します。
	11a/n/ac IEEE802.11a 規格、IEEE802.11n 規格、IEEE802.11ac 規格を使用します。

項目	内容		
有効 SSID 数	有効にする SSID の個数を設定します。(初期値: 1 (SSID1 のみ有効)) 2.4GHz、5GHz それぞれ 5 個まで設定できます。(SSID1 ~ SSID5) SSID の数が多くなるほど負荷がかかり、通信速度が遅くなる場合があります。		
SSID1 ~ 5	「有効 SSID 数」で有効にした個数の SSID と VLAN ID を設定します。 (SSID の初期値: elecom" 周波数帯 " "SSID 番号" - "MAC アドレスの下 6 桁") ※ " 周波数帯 " は、2.4GHz : 2g、5GHz : 5g となります。 例えば、" 周波数帯 " が 2.4GHz、"SSID 番号" が 1、"MAC アドレスの下 6 桁" が 12:34:56 のとき SSID は、「elecom2g01-123456」となります。 SSID は初期値から変更することができます。(半角英数字および半角記号で、1 ~ 32 文字まで設定できます。大文字と小文字は区別されます。) <table border="1"> <tr> <td>VLAN ID</td><td>各 SSID に 1 ~ 4094 までの整数値で固有の VLAN ID を設定します。(初期値: 1) (※アクセスポイントモード時のみ対応)</td></tr> </table>	VLAN ID	各 SSID に 1 ~ 4094 までの整数値で固有の VLAN ID を設定します。(初期値: 1) (※アクセスポイントモード時のみ対応)
VLAN ID	各 SSID に 1 ~ 4094 までの整数値で固有の VLAN ID を設定します。(初期値: 1) (※アクセスポイントモード時のみ対応)		
オートチャンネル	オートチャンネル機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値: 有効) 「有効」に設定すると空きチャンネルを自動検出します。		

●オートチャンネルが無効の場合

チャンネル	使用チャンネルを設定します。	
	2.4GHzの場合	Ch1 ~ 13 (初期値: Ch11)
	5GHzの場合	Ch 36、40、44、48、52 (DFS)、56 (DFS)、60 (DFS)、64 (DFS)、100 (DFS)、104 (DFS)、108 (DFS)、112 (DFS)、116 (DFS)、120 (DFS)、124 (DFS)、128 (DFS)、132 (DFS)、136 (DFS)、140 (DFS)、144 (DFS) (初期値: Ch36)
チャンネル帯域幅	無線 LAN が帯域により使用する追加チャンネルを選択します。	
	2.4GHzの場合	「20MHz」、「Auto、+Ch ^{*1} 」、「40MHz、+Ch ^{*1} 」 (初期値: Auto、+Ch)
	5GHzの場合	「20MHz」、「40MHz、+Ch ^{*1} 」、「Auto、80/40/20MHz」 (初期値: Auto、80/40/20MHz)
BSS BasicRateSet	本製品と無線機器の管理・制御通信フレームの通信速度を選択します。 設定を変更した場合に問題がある場合は、初期値を使用してください。	
	2.4GHzの場合	「1, 2Mbps」、「1, 2, 5.5, 11Mbps [*] 」、「1, 2, 5.5, 6, 11, 12, 24Mbps [*] 」、「all」(初期値: 1, 2, 5.5, 11, 6, 12, 24 Mbps) ※ 無線通信モードが 11b の時は表示されません。
	5GHzの場合	「6, 12, 24 Mbps」、「all」(初期値: 6, 12, 24Mbps)

※ 1 「チャンネル」で選択した値により表示は異なります。

●オートチャンネルが有効の場合

オートチャンネル 範囲	チャンネルで使用する周波数帯を選択します。	
	2.4GHz の場合	「Ch 1 - 11」、 「Ch 1 - 13」 (初期値 Ch 1 - 11)
	5GHz の場合	「W52」、 「W52+W53」、 「W52+W53+W56」 * (初期値 W52+W53+W56)
※ W52 : 36/40/44/48ch W53 : 52/56/60/64ch W56 : 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch (「オートチャンネル」 が「有効」 の場合、 144ch は選択されません。)		
MEMO ● 近い周波数帯を使用した無線機器が本製品の通信速度に影響を与えることがあります。チャンネルを変更して異なる周波数帯を設定してください。 ● W53 および W56 のチャンネルでは、DFS (Dynamic Frequency Selection) 機能が有効になります。これは、気象・管制レーダー等への混信を避けるために、自動的に使用している周波数帯を変更する機能です。自動変更が発生したときに無線通信が一時停止することがあります。 ● W52 および W53 は屋外で利用できません。W56 は屋外で利用できます。		
オートチャンネル 間隔	チャンネルを変更する間隔を次の中から選択します。「オートチャンネル」 が「有効」 の場合のみ設定できます。 「1 時間 / 2 時間 / 12 時間 / 1 日 / 2 日」 (初期値 : 2 時間)	
	クライアントが接続している場合でも、チャンネルを変更する	本製品に無線子機を接続しているときでも自動的にチャンネルを変更します。
チャンネル帯域幅	無線 LAN が帯域により使用する追加チャンネルを選択します。	
	2.4GHz の場合	「20MHz」、 「Auto」、 「40MHz」 (初期値 : 40MHz)
	5GHz の場合	「20MHz」、 「Auto 40/20MHz」、 「Auto 80/40/20MHz」 (初期値 : Auto 80/40/20MHz.) ● 最大 2 つのチャンネルを使用する場合は「Auto 40/20MHz」、最大 4 つのチャンネルを使用する場合は「Auto 80/40/20MHz」を選択してください。
BSS BasicRateSet	本製品と無線機器の管理・制御通信フレームの通信速度を選択します。 設定を変更した場合に問題がある場合は、初期値を使用してください。	
	2.4GHz の場合	「1, 2Mbps」、 「1, 2, 5.5, 11Mbps」、 「1, 2, 5.5, 6, 11, 12, 24Mbps」、 「all」 (初期値 : all)
	5GHz の場合	「6, 12, 24 Mbps」、 「all」 (初期値 : all)

■ 詳細設定

ELECOM
Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

無線設定
WPS
2.4GHz
基本設定
詳細設定
セキュリティ
クライアント
5GHz
基本設定
詳細設定
セキュリティ
クライアント
MACフィルター(無線)
RADIUS
RADIUS設定
ワイヤレスモニタ
動作モード
アクセスポイントモード

詳細設定
2.4 GHz 詳細設定
コンテンツスロット
Short
プリアンブルタイプ
Short
ガードインターバル
Short GI
AMSDU
有効
無効
802.11g プロテクション
有効
無効
802.11n プロテクション
有効
無効
UAPSD
有効
無効
DTIM 間隔
1
(1-255)
RTS 閾値
2347
(1-2347)
フラグメント閾値
2346
(256-2346)
マルチキャストレート
自動
送信出力
100%
ビーコン間隔
100
(100-1000 ms)
キープアラブ期間
60
(0-65535 秒)
ワイヤレスマルチキャストスヌーピング
有効
無効
適用
キャンセル

項目	内容
コンテンツスロット (2.4GHz のみ)	コンテンツスロットを「Short」または「Long」から選択します。 (初期値: Short) 本製品と、接続する無線機器のコンテンツスロットの設定を同じ「Short」に設定すると、通信速度が向上する場合があります。 接続する無線機器が「Short」に対応していない場合は、接続ができないことがあります。
プリアンブルタイプ (2.4GHz のみ)	プリアンブルタイプを「Short」または「Long」から選択します。 (初期値: Short) 本製品と、接続する無線機器のプリアンブルタイプの設定を同じ「Short」に設定すると、通信速度が向上する場合があります。 接続する無線機器が「Short」に対応していない場合は、接続ができないことがあります。 接続する無線機器のプリアンブルタイプを同じ設定にしてください。

項目	内容				
ガードインターバル	干渉を避けるための符号長の設定を次の中から選択します。 (初期値: Short GI) <table border="1"> <tr> <td>Short GI</td><td>符号長の付加時間を短くし、「Long GI」を選択した場合より多くの情報を送信することができますが、符号間干渉が発生しやすくなります。</td></tr> <tr> <td>Long GI</td><td>符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。</td></tr> </table>	Short GI	符号長の付加時間を短くし、「Long GI」を選択した場合より多くの情報を送信することができますが、符号間干渉が発生しやすくなります。	Long GI	符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。
Short GI	符号長の付加時間を短くし、「Long GI」を選択した場合より多くの情報を送信することができますが、符号間干渉が発生しやすくなります。				
Long GI	符号長の付加時間を長くし、符号間干渉の発生を防ぎます。				
AMSDU	AMSDU 機能 (フレーム・アグリゲーション) の「有効」または「無効」を設定します。(初期値: 無効)				
802.11g プロテクション (2.4GHz のみ)	「有効」に設定すると、11b/g 規格が混在している通信環境で、11g 規格を優先します。				
802.11n プロテクション	「有効」に設定すると、11b/g/n 規格が混在している通信環境で、11n 規格を優先します。				
UAPSD	UAPSD の「有効」または「無効」を設定します。(初期値: 有効) UAPSD を「無効」に設定すると、接続クライアントの省電力化に貢献できる場合があります。				
DTIM 間隔	省電力に関する情報を本製品から無線機器に送信する間隔を 1 ~ 255 の範囲で設定します。(初期値: 1) 間隔が大きいほど無線機器の省電力効果が増しますが、応答が遅くなります。ただし、無線機器の省電力の設定を有効にしていないと、この設定は無効です。				
RTS 閾値	RTS 手順を行うときのサイズを 1 ~ 2347 の範囲で設定します。 (初期値: 2347) 設定したサイズよりもフレームサイズが大きい場合、RTS を送信します。				
フラグメント閾値	送信フレームの断片化を行うときのサイズを 256 ~ 2346 の範囲で設定します。(初期値: 2346) 設定したサイズよりもフレームサイズが大きい場合、フレームを分割して送信します。				
マルチキャストレート	マルチキャストパケットの通信速度を次の中から選択します。 (初期値: 自動) 自動 / 2Mbps* / 5.5Mbps* / 6Mbps / 9Mbps / 11Mbps* / 12Mbps / 18Mbps / 24Mbps / 36Mbps / 48Mbps / 54Mbps ※ 2.4GHz のみ 「自動」を選択すると、通信環境にあわせて自動的に最適な速度で通信します。				

項目	内容
送信出力	本製品が無線で送信するときの電波の出力強度を次の中から選択します。(初期値：100%) 「100%」、「90%」、「75%」、「50%」、「25%」、「10%」 本製品の電波の届く範囲を調整することができます。
ビーコン間隔	ビーコンフレームの送信間隔を設定します。 ビーコンフレーム間隔を短くすると無線機器からの検出は早くなりますが、通信速度が低下する可能性があります。 通常は初期値で使用してください。 2.4GHz：100 ～ 1000ms（初期値：100ms） 5GHz：100 ～ 1000ms（初期値：100ms）
キープアライブ期間	本製品に無線機器を接続している場合、本製品が無線機器に接続されていることを確認する間隔を 0 ～ 65535 秒の範囲で設定します。 (初期値：60 秒) 通常は初期値（60 秒）のまま使用してください。
ワイヤレスマルチキャストヌーピング	有効の場合、有線ポートからのマルチキャストパケットを、ユニキャストパケットに変換してクライアントに届けます。 マルチキャストパケットによる帯域不足が起きる場合、有効にすることで改善される場合があります。(初期値：無効)

■ セキュリティ

ELECOM Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

無線設定

- WPS
- 2.4GHz
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - セキュリティ**
 - クライアント
- 5GHz
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - セキュリティ
 - クライアント
- MACフィルター(無線)
- RADIUS
 - RADIUS設定
- ワイヤレスモニタ

セキュリティ

2.4 GHz ワイヤレスセキュリティ設定(使用可能 SSID 4/5)

SSID: elecom2g01-cd531a

ブロードキャストSSID: 有効

セパレーター機能: 無効

接続制限台数: 50 / 50

認証方式: WPA Personal

WPAタイプ: WPA2 Personal

暗号化タイプ: AES

キー更新間隔: 60 分

Pre-shared キータイプ: パスフレーズ

Pre-shared キー: 187222711238

追加認証: 追加認証なし

適用 キャンセル

項目	内容								
SSID	セキュリティを設定する SSID を選択します。(初期値: SSID1) 「無線設定」→「2.4GHz 11b/g/n」または「5GHz 11a/n/ac」の「基本設定」で設定した SSID のみ選択できます。								
ブロードキャスト SSID	無線 LAN 上の無線機器から本製品を検索可能にする機能の「有効」または「無効」を設定します。(初期値: 有効) <table border="1"> <tr> <td>有効</td><td>無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャスト SSID を有効にする必要があります。</td></tr> <tr> <td>無効</td><td>無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索しても見つからないようになります。無線機器側で本製品の SSID を直接入力する必要があります。</td></tr> </table>	有効	無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャスト SSID を有効にする必要があります。	無効	無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索しても見つからないようになります。無線機器側で本製品の SSID を直接入力する必要があります。				
有効	無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索可能にします。ただし、無線機器側もブロードキャスト SSID を有効にする必要があります。								
無効	無線機器を本製品に接続する場合、無線機器側で本製品を検索しても見つからないようになります。無線機器側で本製品の SSID を直接入力する必要があります。								
セパレーター機能	同一周波数帯に接続している無線機器間の通信制限を次の中から選択します。(初期値: 無効) ● セパレーター機能は、無線機器間に対する通信制御機能です。 <table border="1"> <tr> <td>無効</td><td>無線機器間への通信制御を行いません。</td></tr> <tr> <td>STA セパレーター</td><td>現在の無線通信モードに接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。</td></tr> <tr> <td>SSID セパレーター</td><td>同じ無線通信モードの同じ SSID に接続している無線機器間のみ通信を許可します。</td></tr> <tr> <td>STA & SSID セパレーター</td><td>同じ無線通信モード同じ SSID に接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。</td></tr> </table>	無効	無線機器間への通信制御を行いません。	STA セパレーター	現在の無線通信モードに接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。	SSID セパレーター	同じ無線通信モードの同じ SSID に接続している無線機器間のみ通信を許可します。	STA & SSID セパレーター	同じ無線通信モード同じ SSID に接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。
無効	無線機器間への通信制御を行いません。								
STA セパレーター	現在の無線通信モードに接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。								
SSID セパレーター	同じ無線通信モードの同じ SSID に接続している無線機器間のみ通信を許可します。								
STA & SSID セパレーター	同じ無線通信モード同じ SSID に接続しているすべての無線機器間の通信を禁止します。								

項目	内容										
接続制限台数	各無線通信モードの最大同時接続台数を設定します。 (設定範囲は、2.4GHz、5GHz とともに 1 ～ 50 (初期値 : 50) です。) ● この設定は接続可能な最大数です。最大数を接続したときの通信状況は、接続無線機器の通信量や環境により影響されます。										
認証方式	本製品へ接続された無線機器に使用する認証方式を設定します。 (初期値 : WPA-Personal) 各認証方式を設定するためには、接続する無線子機が各認証方式に対応している必要があります。設定の前に無線子機の対応規格をご確認のうえ認証方式を選択してください。 <table border="1"> <tr> <td>認証なし</td><td> 認証方式を設定しません。 通常は「認証なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。 </td></tr> <tr> <td>Enhanced Open</td><td> Enhanced Open に対応した無線機器が通信できます。通信は AES で暗号化されます </td></tr> <tr> <td>IEEE802.1x/EAP</td><td> 専用の RADIUS 認証サーバーを用意し、EAP 認証プロトコルを使用することで、無線子機がネットワークに接続するための認証手段を厳格に行うことができます。主にビジネスユースで利用されています。 </td></tr> <tr> <td>WPA Personal</td><td> WPA Personal に準拠した無線機器との認証設定を行います。 WPA タイプは以下から選択できます。 ・「WPA3 Personal」 ・「WPA2/WPA3 Personal」 ・「WPA2 Personal」 ・「WPA/WPA2 Personal」 (初期値 : WPA2 Personal) </td></tr> <tr> <td>WPA Enterprise</td><td> WPA Enterprise に準拠した無線機器の認証を行います。 EAP 認証プロトコルに対応した無線機器 (サブリカント) および RADIUS サーバーが必要です。WPA タイプは以下から選択できます。 ・「WPA3 Enterprise-192bit」 ・「WPA3 Enterprise」 ・「WPA2/WPA3 Enterprise」 ・「WPA2 Enterprise」 ・「WPA/WPA2 Enterprise」 (初期値 : WPA3 Enterprise-192bit) </td></tr> </table>	認証なし	認証方式を設定しません。 通常は「認証なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。	Enhanced Open	Enhanced Open に対応した無線機器が通信できます。通信は AES で暗号化されます	IEEE802.1x/EAP	専用の RADIUS 認証サーバーを用意し、EAP 認証プロトコルを使用することで、無線子機がネットワークに接続するための認証手段を厳格に行うことができます。主にビジネスユースで利用されています。	WPA Personal	WPA Personal に準拠した無線機器との認証設定を行います。 WPA タイプは以下から選択できます。 ・「WPA3 Personal」 ・「WPA2/WPA3 Personal」 ・「WPA2 Personal」 ・「WPA/WPA2 Personal」 (初期値 : WPA2 Personal)	WPA Enterprise	WPA Enterprise に準拠した無線機器の認証を行います。 EAP 認証プロトコルに対応した無線機器 (サブリカント) および RADIUS サーバーが必要です。WPA タイプは以下から選択できます。 ・「WPA3 Enterprise-192bit」 ・「WPA3 Enterprise」 ・「WPA2/WPA3 Enterprise」 ・「WPA2 Enterprise」 ・「WPA/WPA2 Enterprise」 (初期値 : WPA3 Enterprise-192bit)
認証なし	認証方式を設定しません。 通常は「認証なし」に設定しないでください。悪用されたり、パソコンに不正アクセスされる場合があります。										
Enhanced Open	Enhanced Open に対応した無線機器が通信できます。通信は AES で暗号化されます										
IEEE802.1x/EAP	専用の RADIUS 認証サーバーを用意し、EAP 認証プロトコルを使用することで、無線子機がネットワークに接続するための認証手段を厳格に行うことができます。主にビジネスユースで利用されています。										
WPA Personal	WPA Personal に準拠した無線機器との認証設定を行います。 WPA タイプは以下から選択できます。 ・「WPA3 Personal」 ・「WPA2/WPA3 Personal」 ・「WPA2 Personal」 ・「WPA/WPA2 Personal」 (初期値 : WPA2 Personal)										
WPA Enterprise	WPA Enterprise に準拠した無線機器の認証を行います。 EAP 認証プロトコルに対応した無線機器 (サブリカント) および RADIUS サーバーが必要です。WPA タイプは以下から選択できます。 ・「WPA3 Enterprise-192bit」 ・「WPA3 Enterprise」 ・「WPA2/WPA3 Enterprise」 ・「WPA2 Enterprise」 ・「WPA/WPA2 Enterprise」 (初期値 : WPA3 Enterprise-192bit)										

追加認証	無線機器接続時の追加認証の方式を次の中から選択します。 (初期値：追加認証なし) MAC アドレスのクライアントのみを接続許可／拒否する場合は、本設定項目にて「MAC アドレスフィルター許可リスト」または「MAC アドレスフィルター拒否リスト」を選択してください。 MAC アドレスの登録については、80 ページ「MAC フィルター（無線）」を参照してください。	
	認証なし	追加認証を設定しません。
	MAC アドレスフィルター許可リスト	接続を許可する無線機器の MAC アドレスを本製品へ登録しておき、該当する機器のみ接続を認証します。
	MAC アドレスフィルター拒否リスト	接続を拒否する無線機器の MAC アドレスを本製品へ登録しておき、該当する機器のみ接続を拒否します。

●認証方式が「Enhanced Open」の場合

認証方式	Enhanced Open ▼
Transition Mode	☐ 有効 ☒ 無効
追加認証	追加認証なし ▼
適用 キャンセル	

項目	内容
Transition Mode	本機能を有効にすると、Enhanced Open に対応していない無線機器でも Enhanced Open に設定した SSID に接続可能になります。

●認証方式が「IEEE802.1x/EAP」の場合

認証方式	IEEE802.1x/EAP ▼
キーの長さ	64ビット ▼
追加認証	追加認証なし ▼
適用 キャンセル	

項目	内容
キーの長さ	暗号化キーの長さを「64 ビット」または「128 ビット」から選択します。 (初期値：64 ビット)

●認証方式が「WPA Personal」の場合

認証方式	WPA Personal ▼
WPAタイプ	WPA2 Personal ▼
暗号化タイプ	AES ▼
キー更新間隔	60 分
Pre-shared キータイプ	パスフレーズ ▼
Pre-shared キー	1970896248990
追加認証	追加認証なし ▼

適用 キャンセル

項目	内容				
WPA タイプ	WPA のタイプを選択します。 ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。 「WPA3 Personal」、「WPA2/WPA3 Personal」、 「WPA2 Personal」、「WPA/WPA2 Personal」 (初期値：WPA2 Personal)				
暗号化タイプ	暗号化タイプを表示します。 <table border="1"> <tr> <td>AES (初期値)</td><td>暗号化に強力なアルゴリズムを利用し、さらに安全性を高めた暗号通信方式です。 この暗号化方式を利用する場合は、本製品と無線機器の両方で AES/CCM プロトコルに対応している必要があります。</td></tr> <tr> <td>TKIP/AES mixed mode</td><td>TKIP と AES の認証および通信を同時に行います。ブロードキャスト / マルチキャスト通信では、TKIP を使用します。 WPA タイプに「WPA/WPA2 Personal」を選択している場合に設定できます。</td></tr> </table>	AES (初期値)	暗号化に強力なアルゴリズムを利用し、さらに安全性を高めた暗号通信方式です。 この暗号化方式を利用する場合は、本製品と無線機器の両方で AES/CCM プロトコルに対応している必要があります。	TKIP/AES mixed mode	TKIP と AES の認証および通信を同時に行います。ブロードキャスト / マルチキャスト通信では、TKIP を使用します。 WPA タイプに「WPA/WPA2 Personal」を選択している場合に設定できます。
AES (初期値)	暗号化に強力なアルゴリズムを利用し、さらに安全性を高めた暗号通信方式です。 この暗号化方式を利用する場合は、本製品と無線機器の両方で AES/CCM プロトコルに対応している必要があります。				
TKIP/AES mixed mode	TKIP と AES の認証および通信を同時に行います。ブロードキャスト / マルチキャスト通信では、TKIP を使用します。 WPA タイプに「WPA/WPA2 Personal」を選択している場合に設定できます。				
キー更新間隔	Pre-shared キー (事前共有キー) の更新間隔を 0 ～ 9999 分の範囲で設定します。(初期値：60 分)				
Pre-shared キータイプ	Pre-shared キー (事前共有キー) の書式を「パスフレーズ」または「Hex (64 文字)」から選択します。(初期値：パスフレーズ) <table border="1"> <tr> <td>パスフレーズ</td><td>半角英数字 8 ～ 63 文字で入力します。</td></tr> <tr> <td>Hex (64 文字)</td><td>16 進数 64 桁で入力します。</td></tr> </table>	パスフレーズ	半角英数字 8 ～ 63 文字で入力します。	Hex (64 文字)	16 進数 64 桁で入力します。
パスフレーズ	半角英数字 8 ～ 63 文字で入力します。				
Hex (64 文字)	16 進数 64 桁で入力します。				
Pre-shared キー	<table border="1"> <tr> <td>SSID1</td><td>本製品に設定された初期値が表示されています。任意の値に変更する事が可能です。</td></tr> <tr> <td>SSID2 ～ 5</td><td>初期値は空欄です。任意の Pre-shared キーを入力します。</td></tr> </table>	SSID1	本製品に設定された初期値が表示されています。任意の値に変更する事が可能です。	SSID2 ～ 5	初期値は空欄です。任意の Pre-shared キーを入力します。
SSID1	本製品に設定された初期値が表示されています。任意の値に変更する事が可能です。				
SSID2 ～ 5	初期値は空欄です。任意の Pre-shared キーを入力します。				

●認証方式が「WPA Enterprise」の場合

認証方式	WPA Enterprise ▼
WPAタイプ	WPA3 Enterprise-192bit ▼
キー更新間隔	60 分
追加認証	追加認証なし ▼

適用 キャンセル

項目	内容
WPA タイプ	WPA のタイプを選択します。 ご使用になる無線子機が対応している種別を選択します。 「WPA3 Enterprise-192bit」、「WPA3 Enterprise」、 「WPA2/WPA3 Enterprise」、「WPA2 Enterprise」、 「WPA/WPA2 Enterprise」(初期値：WPA3 Enterprise-192bit)
キー更新間隔	Pre-shared キー（事前共有キー）の更新間隔を 0 ～ 9999 分の範囲で設定します。(初期値：60 分)

MEMO

本製品の認証方式「IEEE802.1x/EAP」または「WPA Enterprise」を使用して RADIUSサーバーに接続する場合は、あらかじめ接続する端末側に Wi-Fi 接続用のプロファイルを手動で作成してください。
プロファイルの作成方法は各端末のマニュアルなどをご確認ください。

■ クライアント

本製品と通信をしている無線機器の情報が表示されます。



項目	内容
数	本製品と接続している無線機器の SSID 番号が表示されます。
SSID	無線機器が接続している SSID が表示されます。
MAC アドレス	本製品と接続している無線機器の MAC アドレスが表示されます。
送信パケット	本製品と接続している無線機器に送信したデータ量 (KBytes) が表示されます。
受信パケット	本製品と接続している無線機器から受信したデータ量 (KBytes) が表示されます。
シグナル (%)	本製品と接続している無線機器の信号強度 (%) が表示されます。
接続時間	本製品と接続している無線機器の連続接続時間が表示されます。
アイドルタイム	本製品と接続していた無線機器が切断されて (通信していない状態になって) から現在までの時間が表示されます。
リフレッシュ	クリックすると表示内容が更新されます。

MAC フィルター (無線)

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)

登録した MAC アドレスを持つ無線子機のみ通信を許可したり、拒否する設定をします。
第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

The screenshot shows the 'MACフィルター(無線)' (Wireless MAC Filter) configuration page. The left sidebar contains a menu with options like WPS, 2.4GHz, 5GHz, and MACフィルター(無線). The main content area has a title 'MACフィルター(無線)' and a section 'MACアドレスを追加' (Add MAC Address). Below this, there are radio buttons for '許可リスト' (Whitelist) and '拒否リスト' (Blacklist). A large text input field is provided for entering MAC addresses. Below the input field are '追加' (Add) and 'リセット' (Reset) buttons. There are two tables for managing the lists: 'MACアドレスフィルタリングテーブル (許可リスト)' (Whitelist) and 'MACアドレスフィルタリングテーブル (拒否リスト)' (Blacklist). Each table has columns for 'MACアドレス' (MAC Address) and 'アクション' (Action). Below each table are buttons for '選択を削除' (Delete Selection), 'すべてを削除' (Delete All), and 'バックアップ' (Backup).

項目	内容	
MAC アドレスを追加	「許可リスト」または「拒否リスト」を選択した後、接続を許可したい、または拒否したい無線機器の MAC アドレスを入力し、「追加」をクリックします。	
	● MACアドレスは、以下の書式で入力してください。	
	コロン	XX:XX:XX:XX:XX:XX
	ハイフン	XX-XX-XX-XX-XX-XX
	なし	XXXXXXXXXXXXXX

項目	内容						
	● MACアドレスを複数指定する場合は以下の書式で区切って入力してください。 <table> <tr> <td>カンマ</td><td>XX:XX:XX:XX:XX:XX,XX:XX:XX:XX:XX:XX</td></tr> <tr> <td>スペース</td><td>XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX</td></tr> <tr> <td>改行</td><td>XX:XX:XX:XX:XX:XX</td></tr> </table>	カンマ	XX:XX:XX:XX:XX:XX,XX:XX:XX:XX:XX:XX	スペース	XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX	改行	XX:XX:XX:XX:XX:XX
カンマ	XX:XX:XX:XX:XX:XX,XX:XX:XX:XX:XX:XX						
スペース	XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX						
改行	XX:XX:XX:XX:XX:XX						
MAC アドレスフィルター許可リスト／ MAC アドレスフィルター拒否リスト	<table> <tr> <td>MAC アドレス</td><td>本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する／拒否する無線子機の MAC アドレスが表示されます。</td></tr> <tr> <td>アクション</td><td>リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」ボタンをクリックしてください。</td></tr> <tr> <td>バックアップ</td><td>バックアップボタンをクリックすると、現在登録されている MAC アドレスのリストが保存できます。 ファイル形式：.txt</td></tr> </table>	MAC アドレス	本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する／拒否する無線子機の MAC アドレスが表示されます。	アクション	リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」ボタンをクリックしてください。	バックアップ	バックアップボタンをクリックすると、現在登録されている MAC アドレスのリストが保存できます。 ファイル形式：.txt
MAC アドレス	本製品に無線 LAN でアクセスすることを許可する／拒否する無線子機の MAC アドレスが表示されます。						
アクション	リスト上の MAC アドレスを削除するときは、チェックボックスをクリックして選択し、「選択を削除」ボタンをクリックしてください。						
バックアップ	バックアップボタンをクリックすると、現在登録されている MAC アドレスのリストが保存できます。 ファイル形式：.txt						

RADIUS

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)

■ RADIUS 設定

無線機器の認証などで使用する RADIUS サーバーを設定します。

2.4GHz 帯と 5GHz 帯で各 2 台（プライマリ、セカンダリ）の RADIUS サーバーを登録できます。セカンダリの RADIUS サーバーは、プライマリのサーバーの障害時に自動的に切り替えて使用されます。

The screenshot shows the configuration interface for an ELECOM Wireless AP. The left sidebar contains a navigation menu with options like WPS, 2.4GHz, 5GHz, MAC Filter, RADIUS, and Wireless Monitor. The main area is titled 'RADIUS設定' (RADIUS Settings). It contains sections for 'RADIUSサーバー (2.4G)' and 'RADIUSサーバー (5G)'. Each section has a 'プライマリRADIUSサーバー' (Primary RADIUS Server) and a 'セカンダリRADIUSサーバー' (Secondary RADIUS Server). For each server, the following fields are visible: 'RADIUSサーバー' (IP address), '認証ポート' (Authentication Port, set to 1812), '共有シークレット' (Shared Secret), and 'セッションタイムアウト' (Session Timeout, set to 3600 seconds).

● RADIUS サーバー (2.4G)、RADIUS サーバー (5G)

帯域およびプライマリ、セカンダリ共通の説明になります。

項目	内容
RADIUS サーバー	認証に使用する RADIUS サーバーの IP アドレスを設定します。 (初期値：空欄)
認証ポート	RADIUS プロトコルが使用する UDP ポート番号を設定します。 (初期値：1812)

項目	内容
共有シークレット	本製品と RADIUS サーバー間の通信で使用する共有シークレットを半角英数字 1 ～ 99 文字の範囲で設定します。(初期値：空欄) 登録している共有シークレットが一致しなければ、RADIUS サーバーへの認証を得ることができません。
セッションタイムアウト	無線機器とのセッション時間の設定を 0 ～ 86400 (秒) の範囲で設定します。 (初期値：3600 秒) 設定値が 0 の場合、セッションタイムアウトはありません。 RADIUS サーバー側のセッションタイムアウト設定が、本製品の設定よりも優先されます。

ワイヤレスモニター

[アクセスポイントモード](#)
[ルーターモード](#)

本製品の周囲に設置されている無線機器の使用状況が表示されます。

「2.4GHz 11b/g/n」および「5GHz 11a/n/ac」の「基本設定」で「無線」を「有効」に設定している帯域のみワイヤレスモニターが動作します。

The screenshot shows the 'Wireless Monitor' page in the ELECOM web interface. The left sidebar contains navigation options: WPS, 2.4GHz (Basic, Detailed, Security, Client), 5GHz (Basic, Detailed, Security, Client), MAC Filter (Wireless), RADIUS (RADIUS), and Wireless Monitor (selected). The main content area shows the 'Wireless Monitor' title and a 'Refresh' button. Below this, there are sections for '2.4GHz' and '5GHz' wireless networks. The '2.4GHz' section displays a table of detected devices:

Ch	SSID	MACアドレス	セキュリティ	シグナル (%)	タイプ
1	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPAPSKWPA2PSK/AES	100	b/g/n
2	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPAPSKWPA2PSK/AES	73	b/g/n
5	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPA2PSK/AES	100	b/g/n
5	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPA3PSK/AES	100	b/g/n
5	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPA2PSKWPA3PSK/AES	100	b/g/n
6	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPA2PSKWPA3PSK/AES	76	b/g/n
6	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPA3PSK/AES	73	b/g/n
9	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPAPSKWPA2PSK/AES	70	b/g/n
11	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPA2PSK/AES	94	b/g/n
11	XXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXX	WPA2PSK/AES	94	b/g/n

The '5GHz' section is currently empty. A red arrow points from the text '登録済みのアクセスポイント' to the table.

登録済みの
アクセスポイント

項目	内容	
詳細設定	周囲に設置されている任意の無線アクセスポイントを手動で登録します。 登録済みのアクセスポイントは薄いグレーの背景で表示されます。	
無線 2.4GHz、 無線 5GHz	Ch	検出された無線機器のチャンネルが表示されます。
	SSID	検出された無線機器の SSID が表示されます。
	MAC アドレス	検出された無線機器の MAC アドレスが表示されます。
	セキュリティ	検出された無線機器のセキュリティタイプが表示されます。
	シグナル (%)	検出された無線機器の信号強度 (%) が表示されます。
	タイプ	検出された無線機器の無線通信モードが表示されます。
リフレッシュ	表示を最新の使用状況に更新します。	

ツールボックス

管理者

アクセスポイントモード

ルーターモード

本製品の設定画面にログインするためのアカウントや本製品の詳細設定について設定します。

The screenshot displays the '管理者' (Administrator) configuration page. The top navigation bar includes 'ELECOM', 'Wireless AP for Business', and links for 'ホーム' (Home), 'ログアウト', and a language dropdown set to 'Japan (日本語)'. The main menu on the left lists various settings categories like 'ツールボックス', '設定者', 'アクセス設定', '日時', 'アドミリンク', '基本設定', '詳細設定', '設定を保存/復元', '初期化', 'ファームウェア更新', 'ファームウェア確認', '部電', '再起動スケジュール', 'LED設定', '再起動', '動作モード', and 'アクセスポイントモード'. The '管理者' section is active, showing fields for '管理者名' (admin), '管理者パスワード' (masked with dots), and 'ログインタイムアウト' (180 seconds). The '詳細設定' section includes fields for '製品名' (WAB04AB18CD5318), '管理プロトコル' (HTTP and SNMP checked), 'SNMPバージョン' (v1/v2c), 'SNMP取得コミュニティ' (public), 'SNMP設定コミュニティ' (private), 'SNMP ユーザー名', 'SNMP 認証タイプ' (SHA), 'SNMP 認証 パスワード', 'SNMP 暗号化タイプ' (AES128), 'Pre-sharedキー', 'SNMPシステムロケーション' (Unknown), 'SNMPトラップ' (無効), 'SNMPトラップコミュニティ' (public), and 'SNMPトラップマネージャ'.

項目	内容
本製品を管理するアカウント	管理者名 設定画面のログイン時に使用するユーザー名です。 (初期値: admin) 変更する場合は、半角英数字および「-」で 4～16 文字の範囲で設定します。「-」はユーザー名の先頭または末尾に設定できません。空欄は設定できません。
	管理者パスワード 設定画面のログイン時に使用するパスワードです。 (初期値: admin) 変更する場合は、半角英数字および記号で 1～32 文字の範囲で設定します。空欄は設定できません。 「(確認)」にも同じパスワードを入力してください。
	重要 セキュリティ確保のため、初期値からの変更をおすすめします。

項目	内容	
本製品を管理するアカウント	ログインタイムアウト	操作がないときに自動的にログインまでの時間を設定します。 120 ～ 3600 秒の間で設定可能です。 「無制限」にチェックをいれるとログインタイムアウトを制限しません。(初期値：300 秒)
詳細設定	製品名	本製品の本体名称です。 (初期値：「WAB」 + 有線 LAN の MAC アドレス) この名称が、転送ログ (syslog) などで使用されます。 変更する場合は、半角英数字および「-」で 1 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「-」は製品名の先頭または末尾に設定できません。空欄は設定できません。
	管理プロトコル	本製品の設定画面で使用する設定インターフェースの有効または無効を設定します。 使用する設定インターフェースをチェックします。
	HTTP	Web ブラウザーから HTTP プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。 (初期値：有効)
	HTTPS	Web ブラウザーから HTTPS プロトコルを利用してアクセスできる設定インターフェースです。(初期値：有効 ※ 変更できません)
	SNMP	SNMP プロトコルをサポートしたマネージャソフトからアクセスできる設定インターフェースです。(初期値：有効) 以降の設定項目は、この設定をチェックした場合のみ有効になります。
	SNMP バージョン	SNMP プロトコルのバージョンを「v1/v2c」または「v3」から選択します。(初期値：v1/v2c) 「v1/v2c」を選択した場合、MIB のアクセスにはコミュニティ (SNMP 取得コミュニティ、SNMP 設定コミュニティ、SNMP トラップコミュニティ) を使用します。
	SNMP 取得コミュニティ	SNMP 「GETRequest」 コマンドのコミュニティ名です。 (初期値：public) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」で「v1/v2c」を選択した場合のみ設定できます。

項目	内容	
詳細設定	SNMP 設定 コミュニティ	SNMP [SETRequest] コマンドのコミュニティ名です。 (初期値: private) 変更する場合は、半角英数字および記号で 6 ～ 32 文字の範囲で設定します。 「SNMP バージョン」で「v1/v2c」を選択した場合のみ設定できます。
	SNMP ユーザー名	「SNMP バージョン」に「v3」を選択した場合、入力します。 (初期値: 空欄) 使用可能な文字は半角英数字、1 ～ 32 文字以内です。
	SNMP 認証 タイプ	「SNMP バージョン」に「v3」を選択した場合、「MD5」「SHA」「認証しない」から選択します。(初期値: SHA) 「認証しない」を選択した場合は、「SNMP 認証パスワード」の入力は不要です。
	SNMP 認証 パスワード	SNMP v3 で通信する時の認証に利用するパスワードです。 (初期値: 空欄) 指定する場合は、半角英数字および記号で 8 ～ 32 文字の範囲で設定します。
	SNMP 暗号化タイプ	「SNMP バージョン」に「v3」を選択した場合、「AES128」「DES」「暗号化しない」から選択します。(初期: AES128) 「暗号化しない」を選択した場合は、「Pre-shared キー」の入力は不要です。
	Pre-shared キー	「SNMP バージョン」に「v3」を選択し、「SNMP 暗号化方式」に「DES」を選択した場合、入力します。(初期値: 空欄) 使用可能な文字は半角英数字および記号で 8 ～ 32 文字の範囲で設定します。
	SNMP システム ロケーション	SNMP [syslocation] コマンドの設定値です。 (初期値: Unknown) 変更する場合は、半角英数字および記号で 1 ～ 50 文字の範囲で設定します。
	SNMP トラップ	SNMP マネージャにネットワークエラーを通知するための SNMP トラップを有効または無効にします。
	SNMP トラップ コミュニティ	SNMP トラップを有効にした場合、SNMP-TRAP 要求について SNMP マネージャと検証するための SNMP トラップコミュニティ名を入力します。
	SNMP トラップ マネージャ	SNMP トラップを有効にした場合、SNMP マネージャの IP アドレスまたはサーバー名 (2 ～ 128 文字の英数字) を指定します。

アクセス設定

アクセスポイントモード

ルーターモード

管理画面／SNMPへのアクセス設定を行います。

The screenshot shows the 'アクセス設定' (Access Settings) page in the ELECOM management interface. The left sidebar contains navigation links for various settings. The main content area is titled 'アクセス設定' and is divided into two sections: '管理画面アクセス設定' (Management Screen Access Settings) and 'SNMPアクセス設定' (SNMP Access Settings). Each section has a 'WAN側アクセス' (WAN Side Access) and 'LAN側アクセス' (LAN Side Access) section, each with radio buttons for '有効' (Effective) and '無効' (Ineffective). Below these are 'アクセスを許可するホスト' (Hosts to grant access to) with radio buttons for 'すべて' (All), '有効' (Effective), and '無効' (Ineffective). The 'すべて' option is selected for both sections. Each section also has a list of hosts (Host 1, Host 2, Host 3) with input fields for IP address and Subnet mask. At the bottom right, there are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

● 管理画面アクセス設定

項目	内容	
WAN 側アクセス (ルーターモードのみ)	WAN 側から管理画面へのアクセスを許可するか設定します。 (初期値：無効)	
アクセスを許可する ホスト	WAN 側アクセスを有効にした場合に選択します。	
	すべて (初期値)	すべての WAN 側ホストから管理画面へアクセスできます。
	任意	「ホスト1」～「ホスト3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。

項目	内容				
LAN 側アクセス	LAN 側から管理画面へのアクセスを許可するか設定します。 (初期値 : 有効)				
アクセスを許可する ホスト	LAN 側アクセスを有効にした場合に選択します。 <table border="1"> <tr> <td>すべて (初期値)</td><td>すべての LAN 側ホストから管理画面へアクセスできます。</td></tr> <tr> <td>任意</td><td>「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。</td></tr> </table>	すべて (初期値)	すべての LAN 側ホストから管理画面へアクセスできます。	任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。
すべて (初期値)	すべての LAN 側ホストから管理画面へアクセスできます。				
任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。				
ホスト 1～ホスト 3	「アクセスを許可するホスト」で「任意」を選択している場合に、管理画面へのアクセスを許可する有線ホストを指定します。				
無線アクセス	無線機器から管理画面にアクセスを許可するか設定します。 (初期値 : 有効)				
アクセスを許可する ホスト	無線アクセスを有効にした場合に選択します。 <table border="1"> <tr> <td>すべて (初期値)</td><td>すべての無線ホストから管理画面へアクセスできます。</td></tr> <tr> <td>任意</td><td>「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。</td></tr> </table>	すべて (初期値)	すべての無線ホストから管理画面へアクセスできます。	任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。
すべて (初期値)	すべての無線ホストから管理画面へアクセスできます。				
任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。				
ホスト 1～ホスト 3	「アクセスを許可するホスト」で「任意」を選択している場合に、管理画面へのアクセスを許可する無線ホストを指定します。				

● SNMP アクセス設定

項目	内容				
WAN 側アクセス (ルーターモードのみ)	WAN 側から SNMP へのアクセスを許可するか設定します。 (初期値 : 無効)				
アクセスを許可する ホスト	WAN 側アクセスを有効にした場合に選択します。 <table border="1"> <tr> <td>すべて (初期値)</td><td>すべての WAN 側ホストから SNMP へアクセスできます。</td></tr> <tr> <td>任意</td><td>「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。</td></tr> </table>	すべて (初期値)	すべての WAN 側ホストから SNMP へアクセスできます。	任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。
すべて (初期値)	すべての WAN 側ホストから SNMP へアクセスできます。				
任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。				
LAN 側アクセス	LAN 側から SNMP へのアクセスを許可するか設定します。 (初期値 : 有効)				

項目	内容	
アクセスを許可する ホスト	LAN 側アクセスを有効にした場合に選択します。	
	すべて (初期値)	すべての LAN 側ホストから SNMP へアクセスできます。
	任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。
無線アクセス	無線機器から SNMP にアクセスを許可するか設定します。 (初期値：有効)	
アクセスを許可する ホスト	無線アクセスを有効にした場合に選択します。	
	すべて (初期値)	すべての無線ホストから SNMP へアクセスできます。
	任意	「ホスト 1」～「ホスト 3」で指定された有線機器のみ管理画面へのアクセスを許可します。

日時

アクセスポイントモード

ルーターモード

本製品の内部時計を設定します。日付と時刻、NTP サーバー、タイムゾーンを設定できます。

The screenshot shows the 'Date and Time' (日時) configuration page for an ELECOM Wireless AP. The page has a dark header with the ELECOM logo and navigation links. A sidebar on the left contains a menu with options like '管理画面', 'アクセス設定', '日時', 'アドミリンク', '基本設定', '詳細設定', '設定を保存/復元', '初期化', 'ファームウェア更新', 'ファームウェア確認', '設定', '再起動スケジュール', 'LED設定', '再起動', '動作モード', and 'アクセスポイントモード'. The main content area is titled '日時' and includes sections for '日付と時刻の設定' (Date and Time Setting), 'NTPタイムサーバー' (NTP Time Server), and 'タイムゾーン' (Time Zone). In the '日付と時刻の設定' section, there are dropdown menus for year (2022), month (12), and day (19), and another set for hour (11), minute (33), and second (54). A button 'PCから現在時刻を取得する' (Get current time from PC) is present. The 'NTPタイムサーバー' section has a checkbox for 'NTPを使用する' (Use NTP), a text field for 'サーバー名' (Server name), and a dropdown for '更新間隔' (Update interval) set to 24. The 'タイムゾーン' section has a dropdown menu showing '(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京' and buttons for '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

項目	内容
日付と時刻の設定	現在時刻 本製品の内部時計の日付と時刻を年月日は西暦、時刻は 24 時間制で設定します。設定できる範囲は、2005 年から 2037 年です。 例) 2021 年 12 月 10 日 22 時 26 分 45 秒 「PC から現在時刻を取得する」をクリックすると、設定画面にアクセスしているパソコンの時刻を取得し、設定します。 ご使用のパソコンによっては、取得できない場合があります。

項目	内容	
NTP タイムサーバー	NTP を利用する	NTP 機能を使用する場合は「有効」をチェックします。(初期値: チェックなし)
	サーバー名	使用する NTP サーバーのホスト名または IP アドレスを設定します。 (初期値: 空欄) 半角英数字および「.」、「-」で 1 ～ 128 文字の範囲で設定します。 「.」、「-」はサーバー名の先頭または末尾に設定できません。 ホスト名を設定する場合は、DNS が設定されている必要があります。
	更新間隔	NTP サーバーへの時刻確認の間隔を 1 ～ 24 時間 (時間単位) の範囲で設定します。(初期値: 24)
タイムゾーン	本製品の内部時刻を設定します。 (初期値: (GMT+09:00) 大阪、札幌、東京)	

MEMO

NTP サーバーを正しく設定することによって、再起動または電源オン時に時計を自動的に調整することができます。

アドミリンク

アクセスポイントモード

ルーターモード

アドミリンク機能の設定を行います。(本機能をご利用になる場合は、本体FW Ver.2.0.3以上にアップデートを行ってください)

MEMO

- アドミリンク機能を利用する場合、本体の日時設定にNTPサーバーを使用してください。(→91ページ)
- アドミリンク機能を利用する場合、本体の動作モードを事前にご確認ください。動作モードは本体のモード切替スイッチをご確認ください。(→8ページ)
アドミリンク設定後に動作モードを変更する場合は、アドミリンクヘドバイスの再登録が必要となります。

■ 基本設定

ELECOM Wireless AP for Business

ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series

システム構成

無線設定

ツールボックス

ツールボックス

管理

アクセス設定

日時

アドミリンク

基本設定

詳細設定

設定を保存/復元

初期化

ファームウェア更新

ファームウェア更新

ファームウェア確認

節電

再起動スケジュール

LED設定

再起動

動作モード

アクセスポイントモード

基本設定

アドミリンク 基本設定

注意：アドミリンクサービス (<https://admin-link.net>) をご利用いただくためにはインターネット接続が必要です。アドミリンク機能を「有効」にする前に、本デバイスがインターネットに接続されていることをご確認ください。

アドミリンク機能

登録状態

登録状態

未登録

有効

無効

適用

デバイス登録コード発行

デバイスを登録するために必要な「デバイス登録コード」を発行します。

発行された「デバイス登録コード」、アドミリンクサービスの「デバイスグループ」へ追加してください。

デバイス登録コード

コピー

デバイス登録コード発行

登録情報

アドミリンクサービスの「デバイスグループ」に登録済みの「デバイス登録コード」を入力してください。

※「デバイスグループ」に登録されていない「デバイス登録コード」は利用できません。

登録済みデバイス登録コード

シリアル番号

デバイス名

WAB04AB18CD5294

備考

デバイス登録

93

項目	内容	
アドミリンク 基本設定	アドミリンク機能	アドミリンク機能の「有効」または「無効」を設定します。 (初期値: 無効)
	登録状態	アドミリンクサービスへの製品登録状態が表示されます。
デバイス登録 コード発行	クリックするとデバイス登録コードが発行されます。 表示されたデバイス登録コードをコピーして、アドミリンクサーバーのデバイスグループに登録を行います。 (デバイスの登録方法はアドミリンク ユーザーズマニュアルを参照してください)	

※ アドミリンクの詳細やユーザーズマニュアルについては下記URLからご確認いただけます。
<https://www.elecom.co.jp/r/s349>

■ 詳細設定

ELECOM
Wireless AP for Business
ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series
システム構成
無線設定
ツールボックス

ツールボックス
管理権
アクセス設定
日時
アドミリンク
基本設定
詳細設定
設定を保存/復元
初期化
ファームウェア更新
ファームウェア更新
ファームウェア確認
節電
再起動スケジュール
LED設定
再起動
動作モード
アクセスポイントモード

詳細設定

アドミリンク接続用プロキシ設定

アドミリンクサービスをご利用いただくためには、インターネット接続が必要です。
プロキシサーバーの使用状況に合わせて項目を選択および入力してください。

プロキシサーバー
☐ 使用する
☒ 使用しない

アドレス

ポート

ユーザー名

パスワード

通隔操作設定

通隔操作許可
☐ 有効
☒ 無効

設定ファイルアップロード許可
☐ 有効
☒ 無効

ログファイルアップロード許可
☐ 有効
☒ 無効

接続クライアントファイルアップロード許可
☐ 有効
☒ 無効

接続クライアントファイル自動アップロード間隔
6時間

適用
キャンセル

項目	内容	
アドミリンク接続用プロキシ設定	プロキシサーバー	アドミリンクサービスへの接続にプロキシサーバーを使用するか設定します。 プロキシ経由でアドミリンクサービスへ接続する必要がある場合、「使用する」を選択してください。 (初期値：使用しない)
	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。
	ポート	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
	ユーザー名	必要な場合、ユーザー名を入力します。
	パスワード	必要な場合、パスワードを入力します。

95

項目	内容	
遠隔操作設定	遠隔操作許可	アドミリンクサーバーから遠隔操作を許可するか設定します。(初期値：無効)
	設定ファイルアップロード許可	設定ファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	ログファイルアップロード許可	ログファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	接続クライアントファイルアップロード許可	持続クライアントファイルのアップロードを許可するか設定します。(初期値：無効)
	接続クライアントファイル自動アップロード間隔	接続クライアントファイルを自動的にアップロードする間隔を設定します。 (設定範囲：1 時間 /3 時間 /6 時間 / なし) (初期値：6 時間)

設定を保存 / 復元

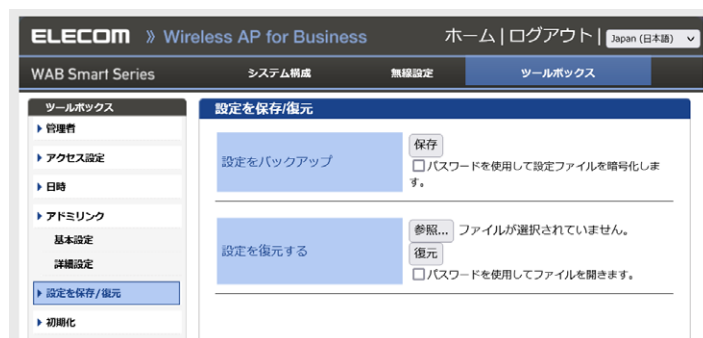
アクセスポイントモード

ルーターモード

本製品の現在の設定内容を保存したり、保存した設定ファイルを本製品に復元したりします。

重要

- 設定を復元すると、IP アドレスや無線の暗号化キーなどが設定ファイルを保存したときの設定に戻るため、本製品に接続できなくなる恐れがあります。
- 設定ファイルの保存時と復元時の管理者パスワードが異なる場合、設定ファイルを復元すると管理者パスワードも復元されます。設定ファイルを保存したときの本製品の管理者パスワードを忘れないように注意してください。本製品の設定操作ができなくなります。
- 復元を実行すると、復元の失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。



項目	内容	
設定をバックアップ	保存	クリックすると、本製品の現在の設定内容を設定ファイルとして PC 内に保存します。 設定ファイルには、本製品に設定された情報がすべて含まれます。 保存される設定ファイルは名前は次のとおりです。 「ELECOM-WAB+ (MAC アドレス) .cfg」 すでに設定ファイルが存在する場合は、「ELECOM-WAB+ (MAC アドレス) +(X).cfg」(X は数字。1 から 1 ずつ増加) となります。 例) ELECOM-WAB0090FE000006(1).cfg
	パスワードを使用して設定ファイルを暗号化します。	チェックして「保存」をクリックすると、設定ファイルにパスワードを設定します。 パスワードは、半角英数字および記号で 1 ～ 32 文字の範囲で設定します。空欄は設定できません。

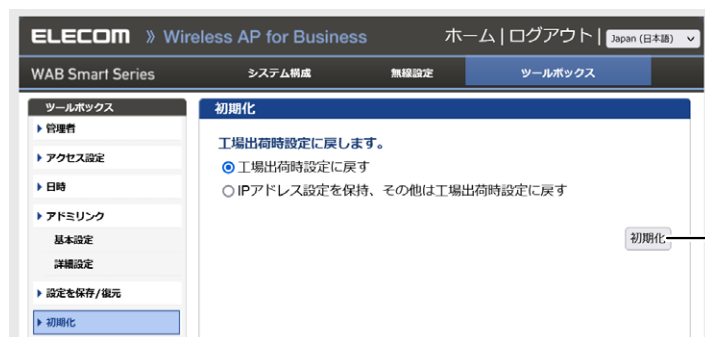
項目	内容	
設定を復元する	復元するファイルを選択します。	
	参照	クリックすると、アップロードするファイルの選択画面が表示されます。パソコンに保存している設定ファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。
	パスワードを使用してファイルを開きます。	復元する設定ファイルにパスワードを設定している場合は、チェックしてから「復元」をクリックし、保存時に設定したパスワードを入力します。
	復元	設定ファイルを読み込み、設定内容の復元を開始します。
	重要 次の設定ファイルは復元できません。 ●保存した設定ファイルのファームウェアバージョンが現在の本製品のファームウェアバージョンよりも新しい場合 ●設定ファイルが破損している場合	

初期化

アクセスポイントモード

ルーターモード

本製品の設定を初期化します。



項目	内容
工場出荷設定に戻す	本製品のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。
IP アドレス設定を保持、 その他は工場出荷時設定に戻す	IP アドレス設定をのぞく、本製品の設定を工場出荷時の設定に戻します。

ファームウェア更新

アクセスポイントモード

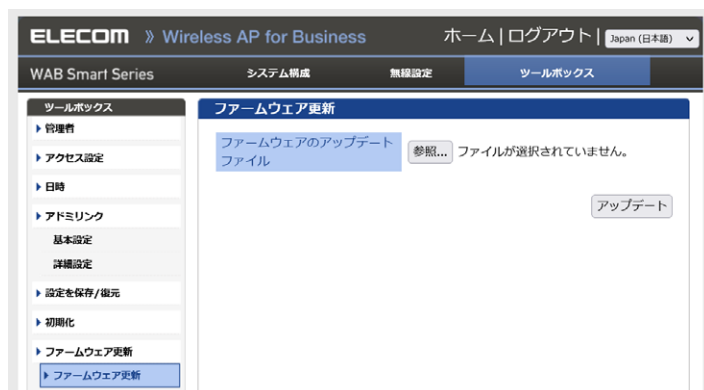
ルーターモード

■ ファームウェア更新

本製品のファームウェアをアップデートします。ファームウェアをアップデートすると、機能の追加や不具合の改善などが実行されます。

重要

- ファームウェア更新中は、本体のLED が点滅します。LED の点滅中は絶対に本製品の電源を切らないでください。本製品の故障の原因になります。書き込みが終わると、自動的に本製品が再起動します。
- 当社が提供するファームウェアのアップデートファイル以外は使用しないでください。
- ファームウェアのアップデートを実行すると、アップデートの失敗または成功に関わらず日時が初期化されます。



項目	内容	
ファームウェアの アップデートファイル	ファームウェアのアップデートファイルを選択します。	
	参照	アップロードするファイルの選択画面が表示されます。 パソコンに保存しているアップデートファイルを選択し、「開く」をクリックしてください。
	アップデート	ファームウェアのアップデートファイルを読み込み、ファームウェアの更新を開始します。
	重要 次の場合は、ファームウェアのアップデート時にエラーになります。 ● 別機種の無線親機のアップデートファイルの場合 ● アップデートファイルが破損している場合	

■ ファームウェア確認

本製品にはエレコム・ホームページ上に最新のファームウェアが公開されたかどうか、自動的に確認を行う「新ファームウェア確認通知」機能があります。

エレコム・ホームページ上現在使用しているファームウェアのバージョンより新しいファームウェアがある場合、指定したアドレス宛に通知メールを送信します。

これにより、最新ファームウェアの適用検討を速やかに行えるようになります。



項目	内容	
新ファームウェア確認通知	新ファームウェア確認	有効を選択すると、「新ファームウェア確認通知」機能が有効になります。(初期値：無効)
確認時間	確認実施時間	最新ファームウェアの存在を確認する時間を選択します。 (自動、または 00:00 ～ 23:30 の範囲で 30 分ごと) 自動の場合は、無作為に確認時間が設定されます。 (初期値：自動)

項目	内容	
通知メール設定	宛先メールアドレス	新ファームウェアの通知メールを送付するメールアドレスを設定します。
	テストメール送信	入力したメールサーバー設定を利用して、テストメールを送信します。 メールサーバー・アドレスの設定が正しいか確認することができます。「テストメール送信」ボタンをクリックしてもメールが届かない場合は、設定内容を確認してください。
メールサーバー設定	送信元メールアドレス	告知メールを送信するための SMTP サーバーへアクセスするメールアドレスを設定します。
	SMTP サーバーアドレス	メールを送信する SMTP サーバーのアドレスを設定します。
	SMTP サーバーポート	SMTP サーバーで使用する認証に合わせたポート番号を設定します。 25 : SMTP 465 : SSL 587 : TLS
	有効 認証	SMTP サーバーで認証が必要な場合、サーバーで使用する認証を「SSL」または「TLS」から選択します。 (初期値 : 無効)
	アカウント	SMTP サーバーの認証で使用するアカウント名を設定します。
	パスワード	SMTP サーバーの認証で使用するパスワードを設定します。
送信回数制限	メール送信回数	告知メールを指定します。指定した回数のメール送信を行うと、それ以上送信を行わなくなります。「0」を指定した場合は、エレコム・ホームページに公開されているファームウェアを適用するまで、継続して通知メールを送信します。(初期値 : 1)
	メール送信頻度	何日に 1 回、通知メールを送信するか、設定可能です。エレコム・ホームページに新しいファームウェアが公開されている状態の場合、「1」の場合は、毎日通知メールを送信します。「2」の場合は 1 日おき、「7」の場合は毎週 1 通の送信を行います。(初期値 : 1)

メールでファームウェアの通知設定を行う場合

ここでは、Gmailを利用した場合の手順を説明します。

1 Gmailアカウントの設定をします。

※ 以下の手順は2023年3月時点のものです。最新の各手順はGmailのヘルプをご覧ください。

設定1

2段階認証プロセスを設定します。

Googleアカウントでログイン後、「アカウント情報」の「Googleへのログイン」から、「2段階認証プロセス」を有効に設定します。

※ 2段階認証プロセスを設定すると、他のGoogleアプリ用のパスワードの生成や設定などさらに作業が必要になる場合があります。

設定2

「Googleへのログイン」から「アプリのパスワード」で、本製品用のパスワードを生成します。

① アプリ パスワードを生成するアプリとデバイスを選択します。

アプリは「メール」、デバイスは「その他（名前を入力）」を選択し、任意の名前を入力して「生成」ボタンをクリックします。



- ② 生成されたパスワードを、本製品の認証パスワードとして使用しますので、控えておきます。

生成されたアプリ パスワード

お使いのデバイスのアプリ パスワード

この部分にパスワードが表示されます

Email

Password

●●●●●●●●

使い方

設定しようとしているアプリケーションまたはデバイスの Google アカウントの設定画面を開きます。パスワードを上に表示されている 16 文字のパスワードに置き換えます。

このアプリ パスワードは、通常のパスワードと同様に Google アカウントへの完全なアクセス権が付与されます。このパスワードを覚えておく必要はないので、メモしたり誰かと共有したりしないでください。

完了

2 指定した時刻にメールを受信したい場合は、本製品自体の日時設定を行います。

ランダムな時間にメールを受信しても問題ない場合は、本手順は不要です。
以下は、NTP タイムサーバーを使用する場合の設定例です。

- ① [ツールボックス] – [日時] を選択して日時設定画面を開き、以下の設定を行います。

日時

日付と時刻の設定

現在時刻

2013

年

9

月

1

日

0

時

00

分

00

秒

PCから現在時刻を取得する

NTPタイムサーバー

NTPを利用する

☒ 有効

サーバー名

ntp.nict.jp

更新間隔

24 時間

タイムゾーン

タイムゾーン

(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

適用

キャンセル

「有効」をチェック

利用する NTP タイムサーバーのアドレスを入力します。
例) ntp.nict.jp

- ② [適用] をクリックします。

3 本製品の新ファームウェア確認通知設定を行います。

- ① [ツールボックス] – [ファームウェア更新] – [ファームウェア確認] を選択してファームウェア確認画面を開き、以下の設定を行います。

ファームウェア確認	
新ファームウェア確認通知	
新ファームウェア確認	☒ 有効 ☐ 無効
確認時間	
確認実施時間	自動
通知メール設定	
宛先メールアドレス	test@test.co.jp テストメール送信
メールサーバー設定	
送信元メールアドレス	test@gmail.com
SMTP サーバー アドレス	smtp.gmail.com
SMTP サーバー ポート	587
有効 認証	TLS
アカウント	test@gmail.com
パスワード	*****
送信回数制限	
メール送信回数	1 回送信後、停止 (0 - 99) ※0の場合、送信停止しません
メール送信頻度	1 日ごと送信 (1 - 7)
適用 キャンセル	

「有効」を選択

101 ページを参照して、任意の時間または「自動」に設定

確認通知を受信するメールアドレスを入力
送信されるメールの「To」になります。

Gmail のメールアドレスを入力
送信されるメールの「From」になります。

「smtp.gmail.com」と入力
「587」と入力

「TLS」を選択

Gmail のメールアドレスを入力
手順 7 で生成した 2 段階認証パスワードを入力

102 ページを参照して、任意の値を設定

- ② [適用] をクリックします。

4 ファームウェア確認画面の[テストメール送信] ボタンをクリックして、テストメールを送信します。

ファームウェア確認

新ファームウェア確認通知

新ファームウェア確認

☒有効
☐無効

確認時間

確認実施時間

自動

通知メール設定

宛先メールアドレス

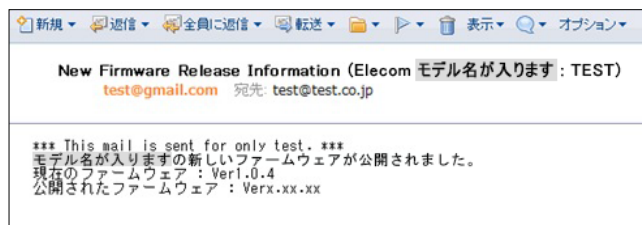
test@test.co.jp

テストメール送信

メールサーバー設定

宛先メールアドレスに設定したメールアドレスにテストメールが受信されているか確認してください。

ファーム確認通知メールの件名・本文は以下の画像を参照してください。



節電

アクセスポイントモード

ルーターモード

設定した曜日および時間に節電機能を作動させます。

節電機能動作中は、LED ランプや無線をオフにすることができます。

項目	内容
節電	有効に設定すると、「スケジュールテーブル」で指定した曜日および時間に節電機能が動作します。(初期値：無効)
ユーザー設定	WLAN (2.4G) チェックすると節電機能動作時に 2.4GHz 帯の無線を無効にします。 (初期値：チェックなし)
	WLAN (5G) チェックすると節電機能動作時に 5GHz 帯の無線を無効にします。 (初期値：チェックなし)

再起動スケジュール

アクセスポイントモード

ルーターモード

指定した曜日および時間に本製品を再起動させることができます。

項目	内容
再起動	「有効」に設定すると、「スケジュールテーブル」で指定した曜日および時間に再起動します。
スケジュールテーブル	追加 「追加」をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。スケジュールは最大 8 件まで設定できます。 再起動させたい曜日をチェックし、「開始時刻」と「終了時刻」を選択します。 設定後、「適用」をクリックすると、設定が追加されます。
	選択を削除 選択しているスケジュールを削除します。
	すべてを削除 すべてのスケジュールを削除します。
	MEMO 適用後のスケジュールの変更が必要な場合は、保存した設定を削除して再度設定を行ってください。

LED 設定

アクセスポイントモード

ルーターモード

本製品のLEDの点灯または消灯を設定します。

項目	内容
電源 LED	「オフ」 に設定すると、各 LED ランプが消灯します。
正面 / 背面 LAN ポート LED	
無線 2.4G LED	
無線 5G LED	

再起動

アクセスポイントモード

ルーターモード

本製品を再起動します。



項目	内容
再起動	クリックすると、本製品を再起動します 再起動を実行すると、日時設定が初期値に戻ります。

こんなときは

動作モードを切り替える	113
ログインID / パスワードを変更する	114
インターネットにつながらない	115
無線LANがつながらない	116
端末からWPSで本製品に接続できない	117
WPSを使っても接続できない	117
PINコードで接続できない	117
ファームウェアを更新する	118
登録した無線子機のみアクセスを許可する	120
初期化する	122

動作モードを切り替える

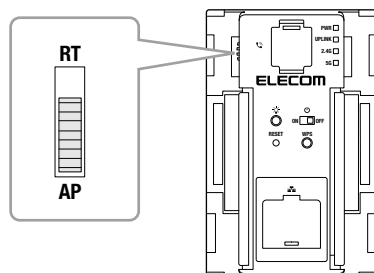
重要

動作モードを切り替えるときは、必ず本製品の電源を切った状態でスイッチをスライドし、電源を入れなおしてください。

- 1 本製品を設置する環境に応じていずれかの位置にスイッチを切り替えます。

RT：本製品をルーターとして使用する場合。

AP：本製品をアクセスポイントとして使用する場合。

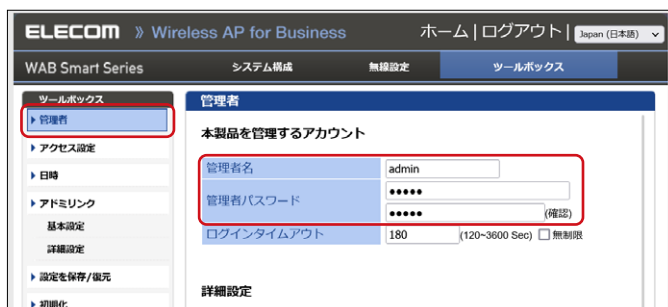


ログインID / パスワードを変更する

重要

セキュリティ確保のため、「管理者パスワード」は初期値からの変更をおすすめします。

- 1 本製品の設定画面を開き、「ツールボックス」－「管理者」をクリックします。



- 2 「管理者名」および「管理者パスワード」を変更し、「適用」をクリックします。

管理者名	設定画面のログイン時に使用するユーザー名です。(初期値：admin) 変更する場合は、半角英数字および「-」で4～16文字の範囲で設定します。 「-」はユーザー名の先頭または末尾に設定できません。 空欄は設定できません。
管理者パスワード	設定画面のログイン時に使用するパスワードです。 変更する場合は、半角英数字および記号で1～32文字の範囲で設定します。 空欄は設定できません。 「(確認)」にも同じパスワードを入力してください。

- 3 本製品が再起動され、設定が反映されます。

インターネットにつながらない

以下のことを試してください。

① **本製品を再起動する。**

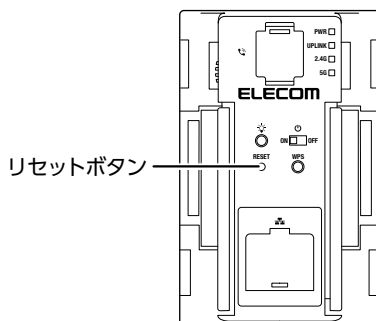
電源スイッチをいったんオフにした後、再度オンにします。

② **本製品を初期化/再設定する。**

本製品のリセットボタンを先の細いもので押し続けます（付属「クイックセットアップガイド」を参照）。

初期化後は、付属のクイックセットアップガイドを参照して再設定を行ってください。

また、必要に応じて初期化する前に設定を保存してください（→ [99ページ](#)）。



無線LANがつかない

① 本製品のセキュリティ設定やMACフィルター設定は正しいですか？

セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACフィルターを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

(→ [80 ページ](#))

② Wi-Fiのセキュリティ機能を設定後に無線LANがつかない。

- セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。
- 各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。
セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。
- 設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

端末からWPSで本製品に接続できない

WPSを使っても接続できない

本製品のWPS機能の初期値は無効です。WPS設定を行う場合はWPS機能を有効にしてください。(→ [66 ページ](#))

また、WPSを使って無線LAN接続するときは、無線LAN子機がWPSに対応している必要があります。

無線LAN子機がWPSに対応していない場合は、SSIDとセキュリティキーを使用して接続してください。

PINコードで接続できない

入力したPINコードが誤っていることがあります。再度PINコードを確認して接続してください。

繰り返し接続に失敗するようであれば、SSIDとセキュリティキーを使用して接続してください。

ファームウェアを更新する

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。

ファームウェアを更新（アップデート）することで、本製品を最新の状態にすることができますので、新しい機能を追加したり、操作を改善することができます。

1 エレコム Web サイトからファームウェアをダウンロードします。

- ① 管理用パソコンでWebブラウザを起動し、エレコムWebサイト「<https://www.elecom.co.jp/>」に接続します。
- ② エレコムWebサイトのメニューから「ダウンロード」→「ドライバ・ユーティリティ」を選択します。

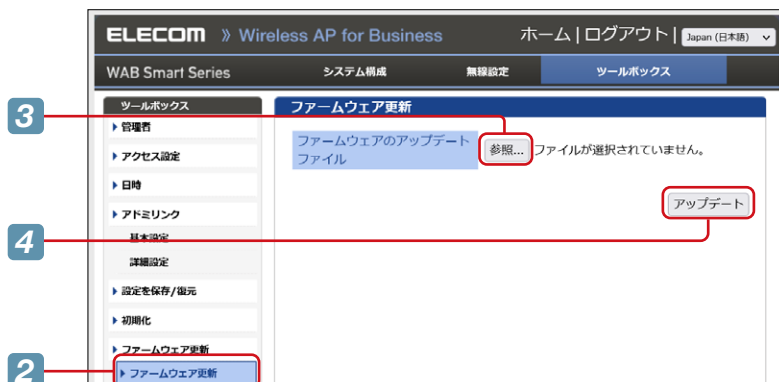


- ③ 「型番で検索」で型番(WAB-S1167IW)を入力し、検索します。



- ④ 本製品向けにダウンロードが可能な内容が表示されますので、「WAB-S1167IWシリーズ用ファームウェア」をクリックします。
- ⑤ 画面の説明に従ってダウンロードを開始します。
 - ダウンロード前に注意事項などがいないか、ダウンロードページでご確認ください。
 - ダウンロードファイルの保存場所には、デスクトップを指定してください。
- ⑥ ダウンロードしたファイルを管理用パソコンに保存します。

- 2** 本製品の設定画面に入り、「ツールボックス」－「ファームウェア更新」をクリックします。



- 3** 「ファームウェアのアップデートファイル」－「参照」をクリックし、**1** でダウンロードしたファイルを選択します。

- 4** 「アップデート」をクリックします。
ファームウェアの更新が開始されるので、しばらく待ちます。

重要

ファームウェア更新中は、本体のLEDが点滅します。
LEDの点滅中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
故障の原因になります。
書き込みが終わると、自動的に本製品が再起動します。

更新が完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示され、新しいファームウェアで動作します。

「システム情報」画面の「バージョン」の数値が最新のバージョンであれば更新されています。

登録した無線子機のみアクセスを許可する

アクセスしたい無線子機のMACアドレスをMACアドレスフィルタリングテーブルに登録すると、登録していない機器からのアクセスを拒否することができます。
2.4GHz用、5GHz用それぞれの登録テーブルが用意されています。

- 1 設定画面を表示し、「無線設定」－「MAC フィルター（無線）」をクリックします。
- 2 「MAC アドレスフィルタ」で「許可リスト」を選択します。



- 3 「接続許可 MAC アドレス」欄に登録したい無線子機のMACアドレスを入力します。

- MACアドレスは、以下の書式で入力してください。

コロン	XX:XX:XX:XX:XX:XX
ハイフン	XX-XX-XX-XX-XX-XX
無し	XXXXXXXXXXXX

- MACアドレスを複数指定する場合は以下の書式で区切って入力してください。

カンマ	XX:XX:XX:XX:XX:XX,XX:XX:XX:XX:XX:XX
スペース	XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX
改行	XX:XX:XX:XX:XX:XX XX:XX:XX:XX:XX:XX

4 「追加」をクリックします。

本製品が再起動されます。

5 「MACアドレスフィルタリングテーブル」に 2 で入力したMACアドレスが追加されていることを確認します。

テーブルに追加されたMACアドレス以外の機器からのアクセスは拒否されます。

追加 リセット

MACアドレスフィルタリングテーブル (許可リスト)

MACアドレス	アクション
00:11:22:33:44:55	☐
12:34:56:78:91:BC	☐

選択を削除 すべてを削除 バックアップ

MACアドレスフィルタリングテーブル (拒否リスト)

MACアドレス	アクション
---------	-------

6 「無線設定」－(2.4GHzまたは5GHzの)「セキュリティ」をクリックし、「追加認証」を「MACアドレスフィルター許可リスト」に設定します。

ELECOM Wireless AP for Business ホーム | ログアウト | Japan (日本語)

WAB Smart Series システム構成 無線設定 ツールボックス

無線設定

- WPS
- 2.4GHz
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - セキュリティ
 - クライアント
- 5GHz
 - 基本設定
 - 詳細設定
 - セキュリティ
 - クライアント
- MACフィルター(無効)
- RADIUS
 - RADIUS設定

セキュリティ

2.4 GHz ワイヤレスセキュリティ設定(使用可能 SSID 4/5)

SSID: elecom2g01-cd531a

ブロードキャストSSID: 有効

セパレータ機能: 無効

接続制限台数: 50 / 50

認証方式: WPA Personal

WPAタイプ: WPA2 Personal

暗号化タイプ: AES

キー更新間隔: 60 分

Pre-shared キータイプ: パスフレーズ

Pre-shared キー: 187222711238

追加認証: MACアドレスフィルター 許可リスト

適用 キャンセル

初期化する

設定を初期化して、工場出荷時の状態に戻します。

重要

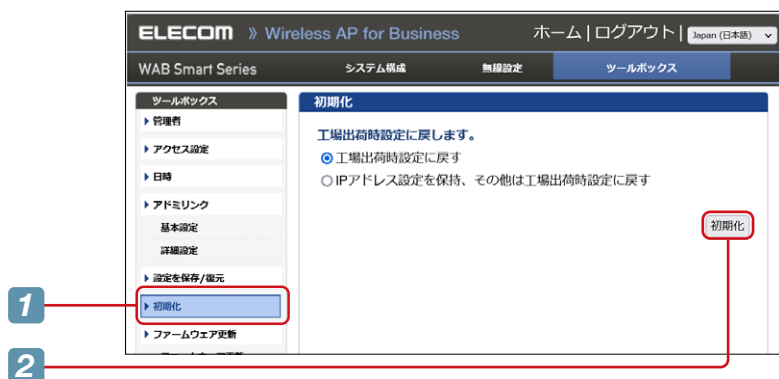
初期化した場合は、お客様にて設定された内容は消去されます。初期化後は再設定を行ってください。

事前に本製品の管理画面「ツールボックス」－「設定を保存/復元」から現在の設定内容を保存できます。

初期化後は同じ画面から設定を復元することができます。

(→ [99ページ](#))

- 1 設定画面を表示し、「ツールボックス」－「初期化」をクリックします。



- 2 「初期化」をクリックします。

- 3 確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

初期化されるまでに少し時間がかかります。本製品の電源を切らないでください。「このページを表示できません」*などの画面が表示されたら、初期化完了です。

※ お使いのブラウザにより表示は異なります。

付録編

安全上のご注意	124
使用上のご注意	127
このマニュアルについて	128
無線LANをご使用になるにあたってのご注意 ..	129
製品の保証について	130
製品の保証とサービス	130
サポートサービスについて	131

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
	丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。

警告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※ 万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電・火災の原因となります。



ケースカバーは取り外したり分解しないでください。

ケースやカバーは絶対に取り外したり、分解したりしないでください。作業時の思わぬ接触など不具合発生時や使用中に、感電及び故障や劣化による火災の原因となる危険があります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。



付属または弊社が指定する仕様・型番のACアダプター、電源ケーブルや信号ケーブル以外を本製品に使わないでください。

仕様が合わないACアダプター・ケーブル等を接続すると、本製品が故障・発煙・発火する恐れがあります。



装置の上に物を置かないでください。

本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。



揮発性液体の近くの使用は避けてください。

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



同梱の部品は、本製品でのみご使用ください。

製品に同梱されているACアダプター、あるいは電源コードは、他の電子機器では使用しないでください。仕様の違いにより、火災・故障の原因となります。



注意



通風孔はふさがないでください。

過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。

屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

故障や、接触不良による発火や火災の原因となります。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



電源が入っている状態で本体に長時間（10 秒以上）触れないでください。

低温やけどの原因となるおそれがあります。



地震・振動・落下対策について。

地震などによる振動で装置の落下、移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、必要に応じて保守会社や専門業者にご相談頂くなど、地震・振動・落下対策を実施してください。

使用上のご注意

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。
- 屋外で使用しないでください。
- 周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や震動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があると、ノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告無しに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTPサイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- 本書に掲載されている商品名／社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

■ 2.4GHz 帯使用の無線機器について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式 / OFDM方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」、「特定小電力無線局」帯域を回避可能

■ 5GHz 帯使用の無線機器について

電波法により、W52、W53は屋外での使用が禁止されています。

36 ～ 64chは、屋外で使わないでください。

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より3年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…

サポートポータルサイト「えれさぽ」へ



エレコム法人様サポートセンター

TEL: **0570-070-040**

【受付時間】 9:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 18:00 （月曜日～金曜日）

※ 祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く

ネットワークサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
 - ・ ご質問内容 (症状、やりたいこと、お困りのこと)
- ※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。製品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの製品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in Japan only.

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOT CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.



無線アクセスポイントWAB-S1167IW2-AC / WAB-S1167IW-PD

ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社